

4、田原城跡・田原寺跡調査地

a. 調査地の位置と環境（第3図・第4図・第16図）

本調査地は豊岡台地北端の中央部に位置し、南の熊野座神社からの一連の台地丘陵上先端に立地する。東西140m、南北80mの調査地で、現状は標高99mの35m×18mの上部が平らな平島状に小高い台状部分とこの周囲の標高97mの平畑地、および北には標高93m～94mの段下畑地がある。東には北平古道が隣接し、その東には本村集落が存在する。

本調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地「田原城跡」「田原寺跡」の範囲に含まれ、主な時代は平安時代と中世で、田原城跡は城山城跡ともいう。

b. 現地調査の成果

(1) 遺構の状況

トレンチ調査（第4図・第17図～第23図）

調査地の全域にわたり16カ所を掘り下げた。表土下は客土や地山黄褐色ローム土のところが多かったが、2Tなど調査地東部では中世土器などの遺物包含層が残存し、層下で土坑やピットを確認した。段下畑の11Tと12Tは客土と削平が顕著で、11Tと6Tの間には谷が入るようである。16Tは小銃弾が多かったので掘り下げたが、遺構は確認できなかった。遺構は1Tで1号土坑、2Tで2号土坑、3Tと9Tでピット、5Tと10Tで焼硬化面、8Tで江戸時代墳墓を確認した。

トレンチ調査の成果から本調査地の旧地形を復元すると、中央の平島台部は南からの台地丘陵突端の名残で、東西と北に下降傾斜する見晴らしの良い舌状小丘尾根状の地形だったようだ。北東、北、北西、西の4方向から谷が入り込む樹枝状地形の要部にあたり、往時はそれぞれの谷は本調査地内や東側隣接ハウス畑地まで入り込んでいたと考えられる。その様は、まるで左掌五手指のような形状である。北東と北の



調査地全景（東より）



第16図 田原城跡・田原寺跡調査地 現況図 (1/600)

南側崖面遺物分布状況

谷の間の尾根は北に「豊岡尋常小学校跡地」につながって北平古道が通り、同様な平坦地を持つ尾根が西に並行して北に延びる。北西と西の谷の間には「見張り場の適地」として200 mほど延びる細長い尾根がある。本調査地は立地の良さと出入りの多い樹枝状地形が活かされて、田原城跡・田原寺跡の中世では要害の地となり、江戸時代には墓地となり、西南戦争時には陣地が置かれた。

1号土坑 (第17図～第19図・第29図)

長径76.2 cm、現短径54.3 cm、深43.1 cm。壁は急角度で立ち上がり、底部は平ら。黄褐色ローム土に掘り込まれ、覆土は黒褐色土で主に中層に土器を多く含む。土器は坏などの供膳具と小型甕の煮炊具があり、後で詳述する。古代9世紀の廃棄土坑か。

2号土坑 (第18図・第19図)

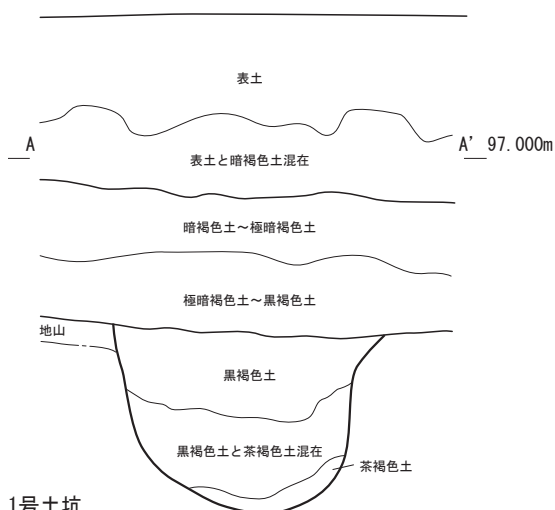
長径86.2 cm、現短径52.8 cm、深24.3 cm。壁は緩やかに立ち上がり、底部は平ら。覆土は黒褐色土で土器粒と炭化物を多く含むも、遺物は出土しなかった。重複ピットの覆土は暗茶褐色で炭化物が入る。

ピット (第20図・第23図)

直径は17 cm～72 cmで様々な大きさがある。調査地南端に多く、田原城跡や田原寺跡に関連する中世の掘立柱建物の一部と思われるが、トレンチ内では全容をつかむことはできなかった。

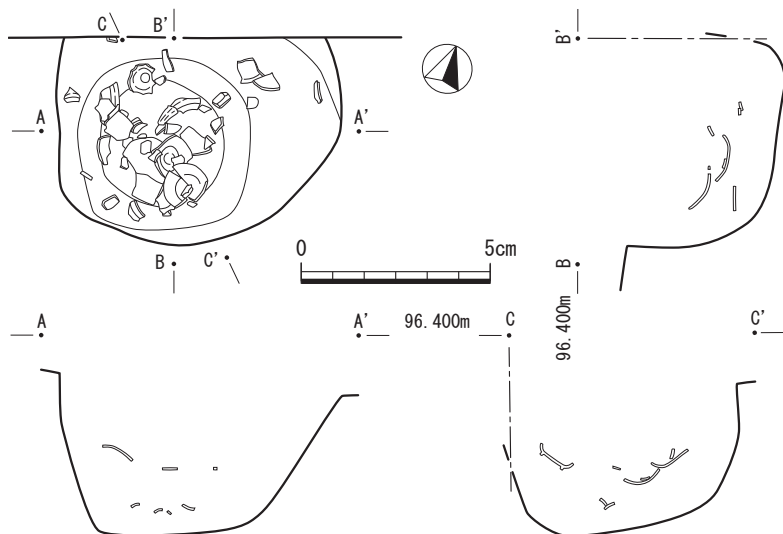
焼硬化面 (第20図・第23図)

5 Tは39 cm×33 cm、10 Tは61 cm×24 cm、黄褐色ローム土上で確認。供出遺物がなく全形等も不明。



遺物出土状況 (西より)

1号土坑



1号土坑 (東より)

第17図 1号土坑 (1/20)

江戸時代墳墓（第18図・第22図）

墓石と5基の墓壇を確認した。トレンチ外にも数多く存在すると思われる。墓壇は方形で長1.4m、幅1m、深1.5mほどのものが多く、小規模のものもある。底面には人骨が残存していた。

(2) 遺物の分布状況（第18図）

本調査地はトレンチ調査の結果からみても、全域にわたり造成が進んでおり、遺物は元位置を留めるものは少ないと思われ、分布状況から詳細にその意味を読み取るには困難を伴う。しかし、大きな場外搬入搬出などの土砂移動はないとのことで、本調査地内でのことのように。

薬 莢 薬莢はスナイドル薬莢で、調査地中央の平島台部東側に分布し、南北33m×7mほどの範囲にやや集中する。他には調査地北端崖面、平島台部北西角、南西端斜面などに散在する。平島台部東側の集中は聞き取り調査によると、台部東端を削って道を作る際に土砂を東方の畑に押し均した、とのことなので、もとは台部東端にあったものが移動した結果と考えられる。薬莢の遺存状況の悪さからみても、移動があったことが理解できる。

その他の薬莢分布箇所には、小銃弾の集中もあり陣地の存在が想定され、小高い部分を中心として調査地内には数カ所の陣地が存在したことが推定できる。また、調査地内の墓石には弾痕は確認できなかったが、調査地外西段下の古墓地墓石には弾痕がある。現在この墓石が所在する場所は本来墓域ではなく畝のある畑地なので、弾痕のある墓石はもともと現在も墓石が散乱する平島台部西斜面にあって、胸壁の一部として使用されたと推測される。

小銃弾 小銃弾の分布は調査地北端斜面、平島台部西斜面、南西端斜面の3カ所に大きく分かれ、薬莢分布が多い平島台部東側には少ない。北端斜面の集中は、北平古道調査地の学校跡南崖面と30mほど離れているが一連のものだろう。かなり旧状が削平されているが、平島台部西斜面と南西端斜面の分布は西方からの攻撃にかかわる戦闘状況の一端を示していると考えられる。

本調査地は立地や地形、薬莢と小銃弾の分布からみると、東側隣接ハウス畑地の状況が不明ながら、北方、東方、西方からの攻撃に対応した重要陣地だったと考えられる。



東側遺物出土状況（西より）



トレンチ調査状況（北より）奥に熊野座神社の森が見える



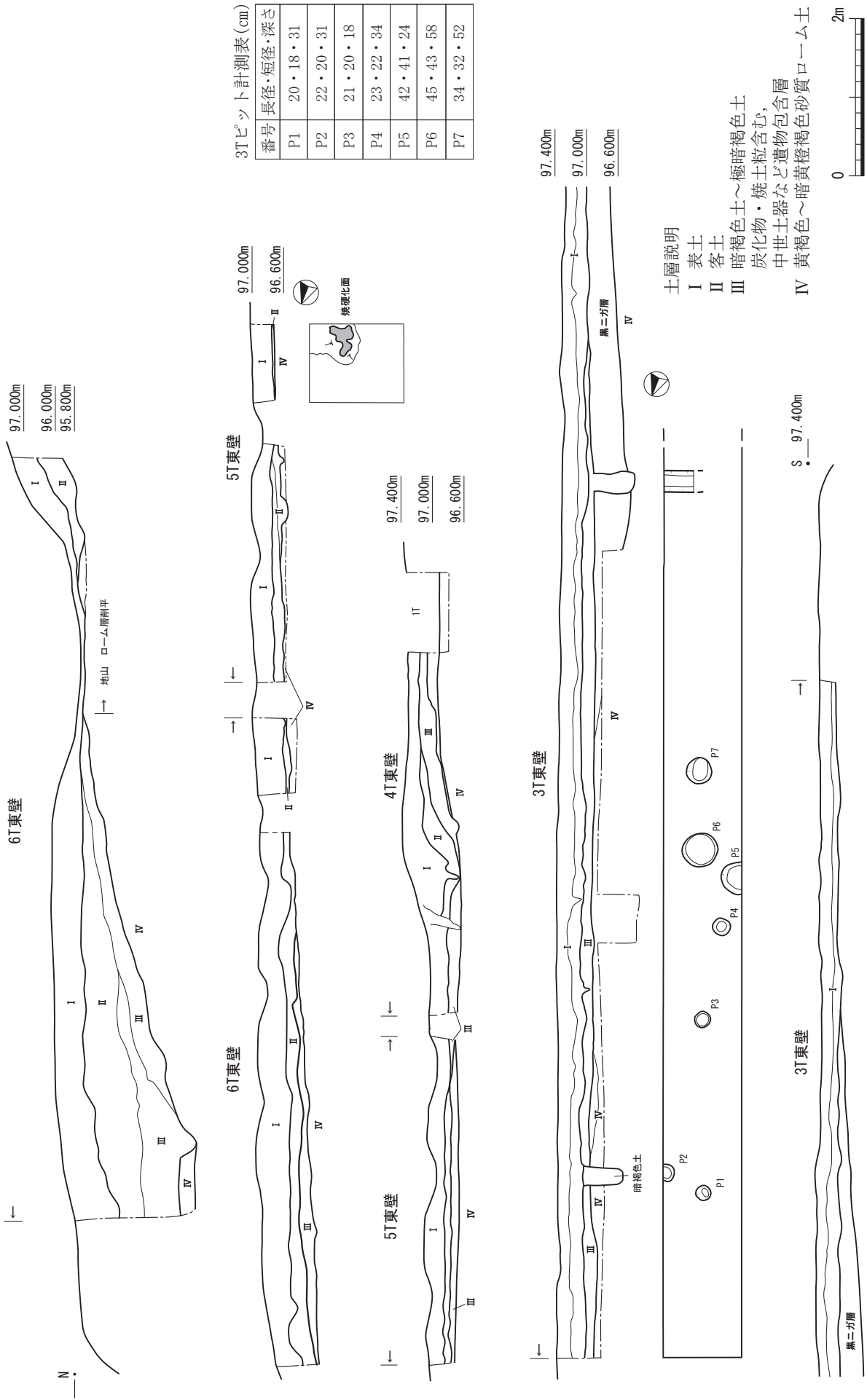
平島台部北西隅の江戸時代墓地（西より）



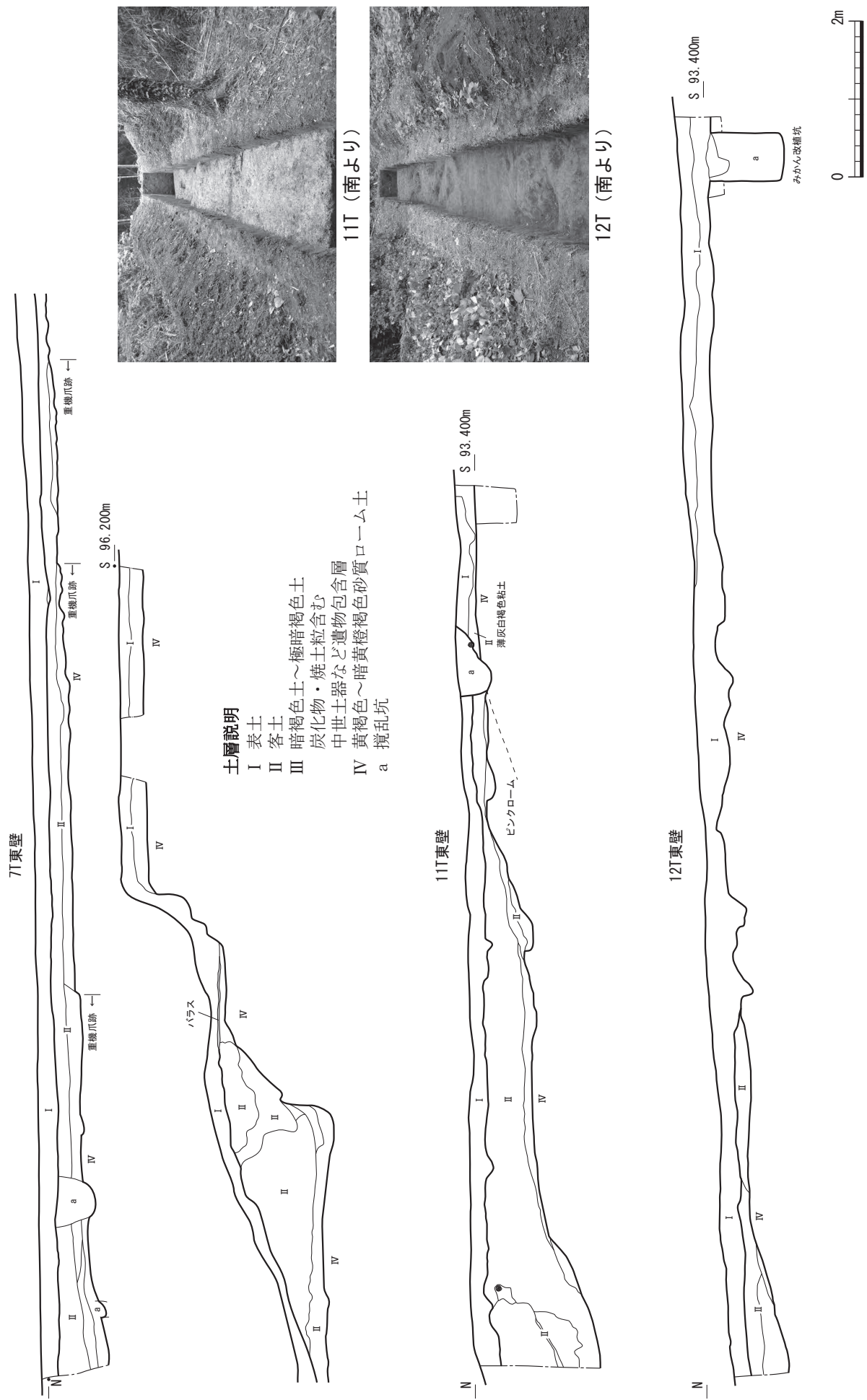
西側斜面遺物出土状況（北より）



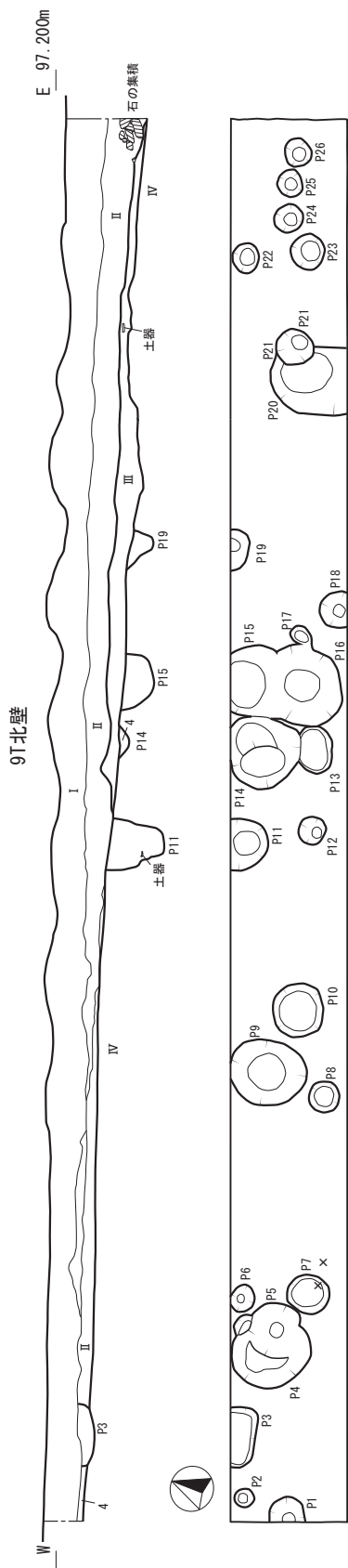
第18図 田原城跡・田原寺跡調査地 遺物分布図、トレンチ配置図全体図 (1/600)



第20図 3T、4T、5T、6T 平面図、断面図 (1/70)



第21図 7T、11T、12T 断面図 (1/70)



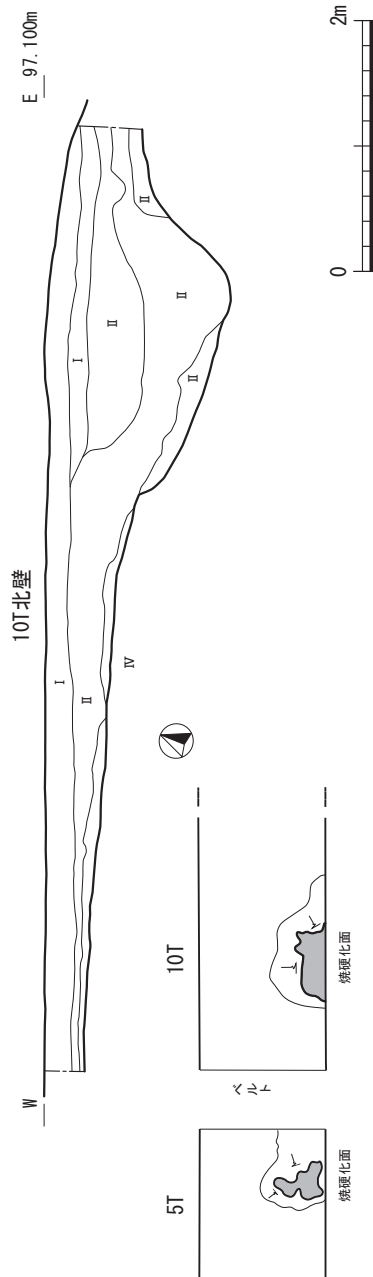
9Tピット計測表

9Tピット計測表		10T北壁		10T		5T	
番号	長径・短径・深さ	層土	番号	長径・短径・深さ	層土	番号	長径・短径・深さ
P1	31・22・39	極暗・黒褐	P10	47・45・37	暗褐	P19	40・35・18
P2	17・16・4	極暗・黒褐	P11	47・43・52	極暗・黒褐	P20	72・58・20
P3	52・24・9	極暗・黒褐	P12	24・24・21	暗褐	P21	32・31・46
P4	68・59・39	暗褐	P13	40・30・5	暗褐	P22	25・22・33
P5	45・45・54	暗褐	P14	65・62・31	極暗・黒褐	P23	29・29・33
P6	22・24・28	暗褐	P15	66・61・27	極暗・黒褐	P24	24・23・16
P7	37・34・43	暗褐	P16	72・65・34	極暗	P25	24・20・21
P8	26・25・20	暗褐	P17	20・15・15	極暗	P26	24・22・16
P9	66・56・53	暗褐	P18	34・31・40	暗褐		

単位：cm

土層説明

- I 表土
- II 客土
- III 暗褐色土～極暗褐色土
炭化物・焼土粒含む
中世土器など遺物包含層
- IV 黄褐色～暗黄褐色砂質ローム土
a 攪乱坑



第23図 9T、10T 平面図、断面図 (1/60)



9T調査状況 (東より)

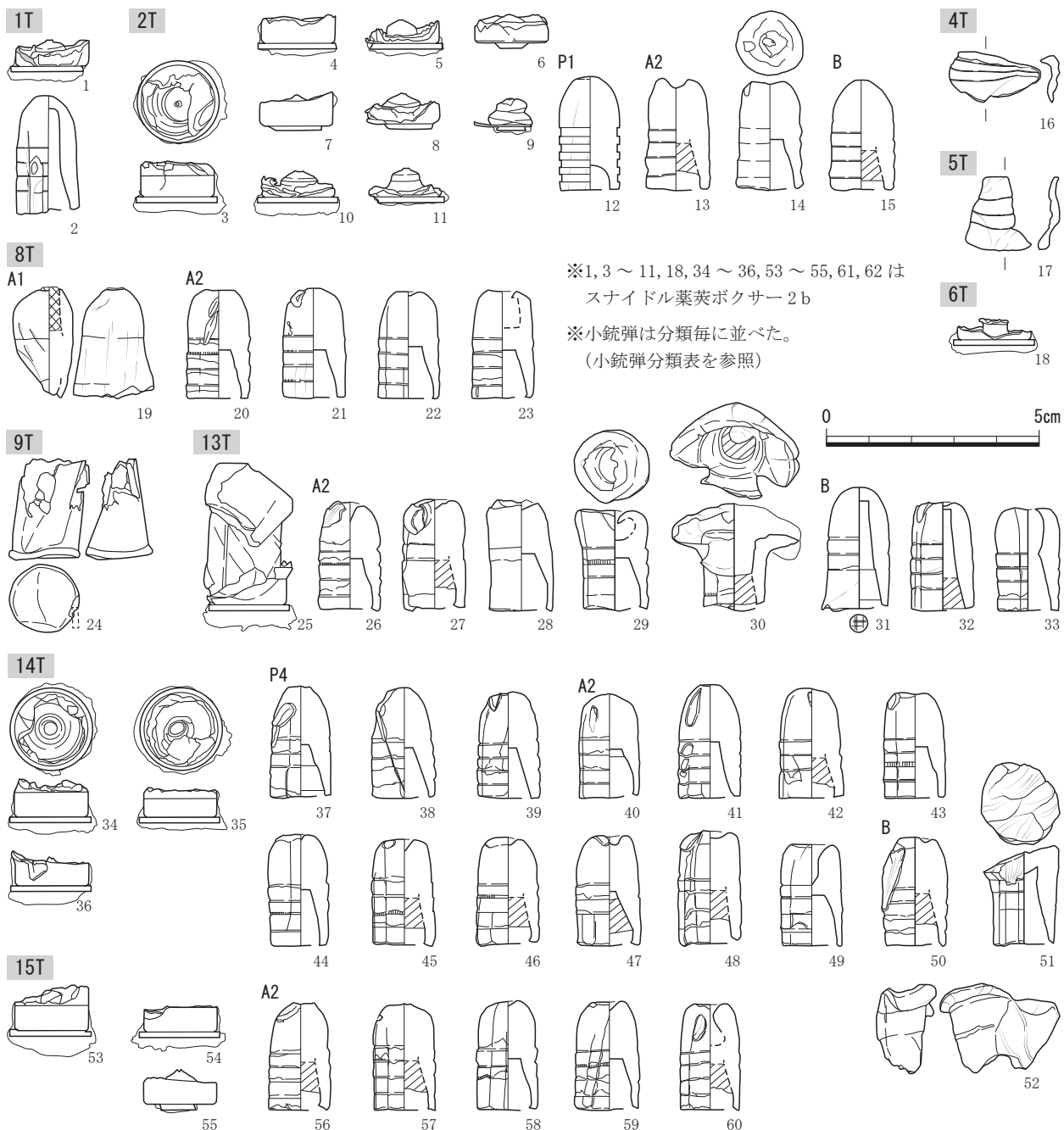
c. 遺物

(1) 西南戦争関連遺物 (第24図～第28図)

遺物はトレンチ出土134点、金属探知機採集204点、東端南崖面採集5点の合計343点である。

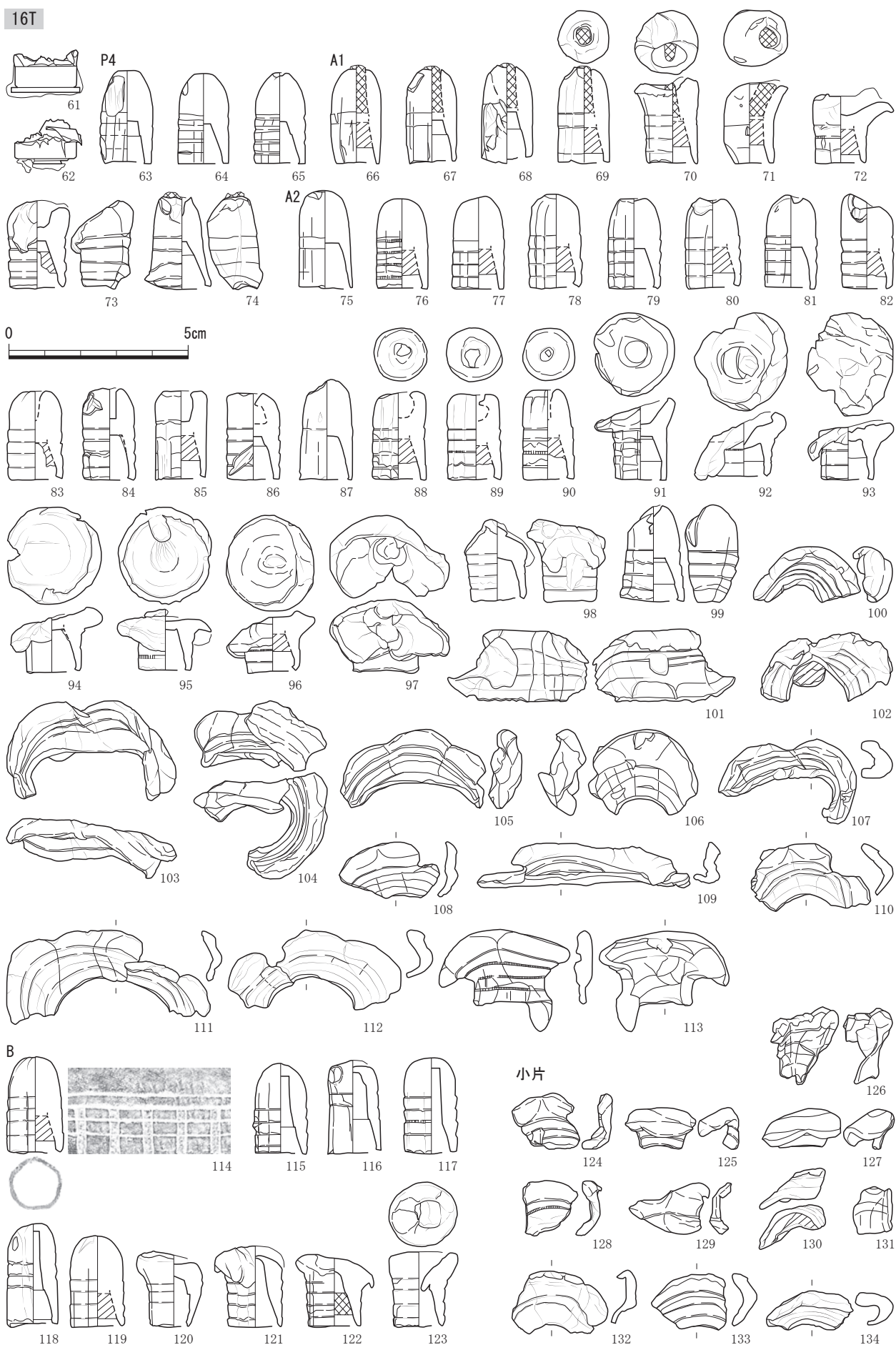
未使用弾 金属探知機採集5点。スナイドル銃弾A2タイプは1と3、Bタイプは2、4、5である。未使用弾は裾部が大きく腐食しているものが多いが、1には腐食がない。しかし、圈溝が鋭く陶栓が押し込まれておらず、発砲使用済みを示す条線痕もない。2の円台孔頂面には放射状の刻印がある。プレスによる搾造にかかわるものだろう。

薬莖 トレンチ出土21点、金属探知機採集86点の合計107点。トレンチ出土はスナイドル薬莖ボックス2bタイプ20点と9Tのスペンサー薬莖1点。金属探知機採集も含めてスナイドル薬莖は薬筒がほとんど全部残らず底蓋のみで、雷管室上部や抽筒板も欠損するものも多く、他調査地と比べても遺存状況は悪い。スペンサー薬莖は比較的堅牢であり破損しないが、24は大きくひしゃげている。



第24図 トレンチ出土遺物1

16T

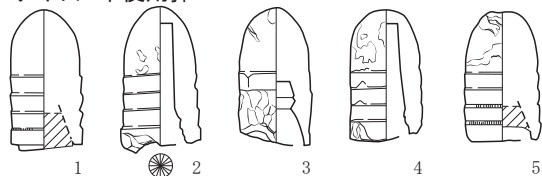


第 25 図 トレンチ出土遺物 2

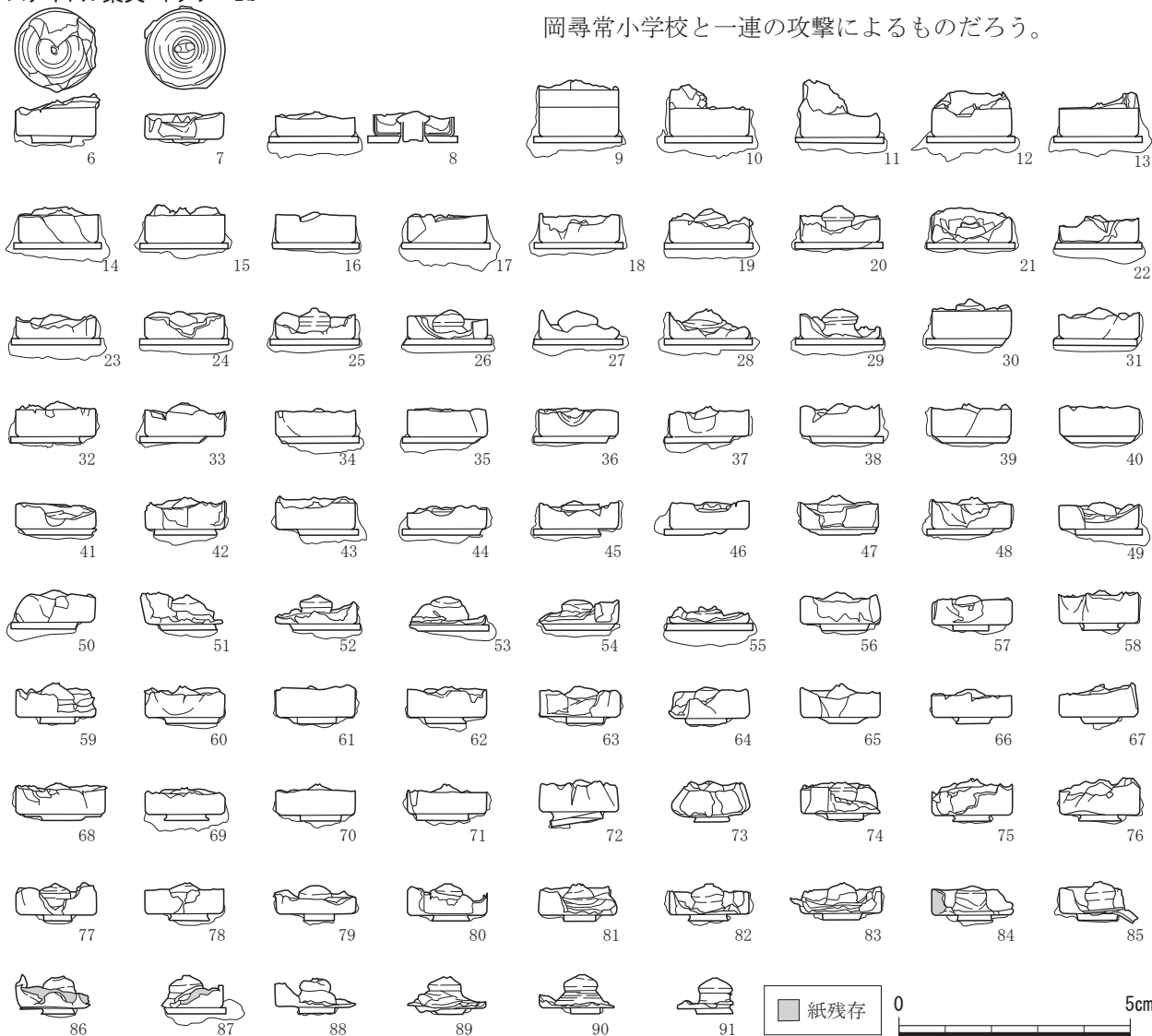
小銃弾 合計 227 点。トレンチ出土のスナイドル銃弾のタイプ別の内訳は、P1・1 点、P4・6 点、A1・10 点、A2・65 点、B・17 点、小片 14 点の計 113 点である。金属探知機調査でのスナイドル銃弾の内訳は、P2・1 点、P4・5 点、A1・4 点、A2・69 点、B・22 点、A1/2・1 点、小片 2 点の小計 104 点で、エンフィールド銃弾 b1・2 点、小径銃弾 2 点、不明小片 1 点を加えると計 109 点になる。東端南崖面採集は A2・5 点である。他調査地と同様に、各種類と各タイプがある。P1 タイプは他調査地を含めても 12 の 1 点のみの出土で非常に珍しく、変形もほとんどないが、条線痕があり発砲されたものである。薬莖のタイプが気になる。

トレンチ出土のスナイドル銃弾は原形を留めているものが多く、潰れているものは少ない。一方、金属探知機調査でのスナイドル銃弾には大きく変形して展延状のものも多く、小片もある。大きく変形するのは A2 タイプの特徴の一つで、頭部が平らにキノコ状に潰れるものは、石塔などの平らな面をもつ対象物に正面から衝突したものだろう。もっと激しい展延状変形は軟質の対象物では起こりにくく、樹木や墓石など硬質対象物に斜めに衝突して起こると考えられる。

スナイドル未使用弾



スナイドル薬莖 ポクサー 2b

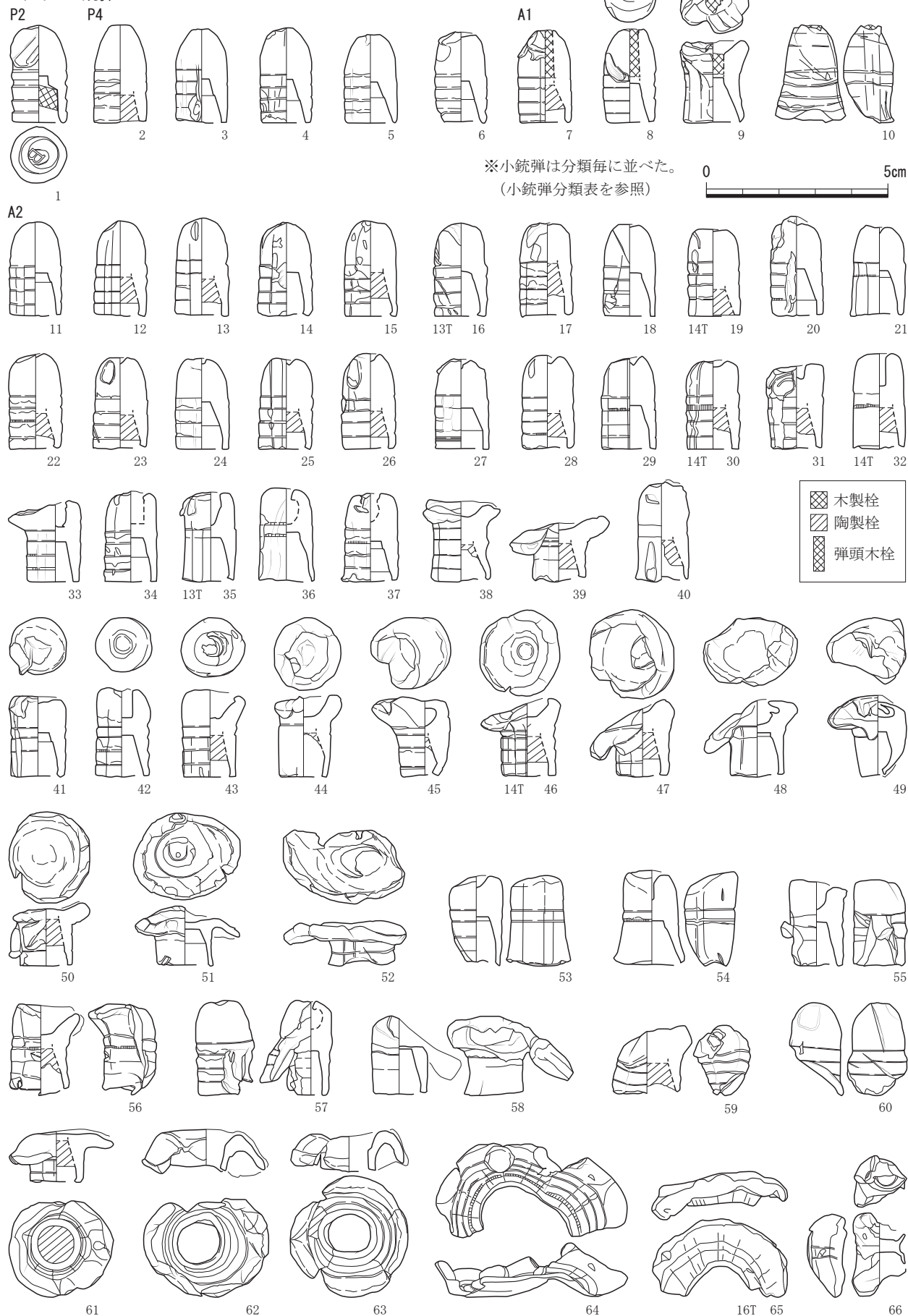


本調査地は現在は畑地で、西南戦争時の植生や自然環境は不明だが、こうした大きく潰れた銃弾から、陣地の構造や周辺の自然環境が判明するかもしれない。

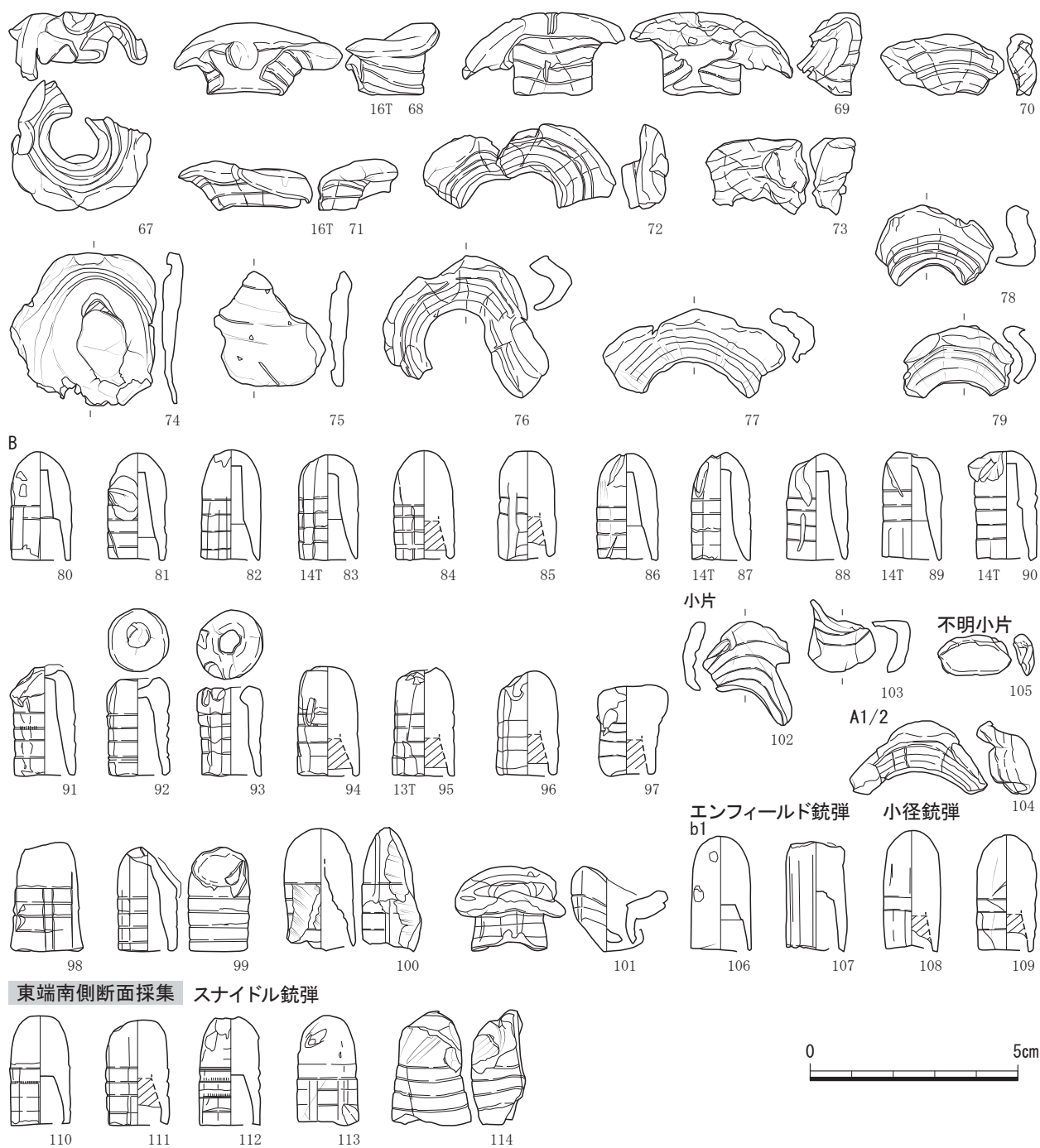
砲弾 四斤砲榴弾片 3 点、霰弾子 1 点と重要陣地と推定される割には少ない。榴霰弾で攻撃されたという豊岡尋常小学校と一連の攻撃によるものだろう。

第 26 図 金属探知機採集遺物 未使用弾・薬莖

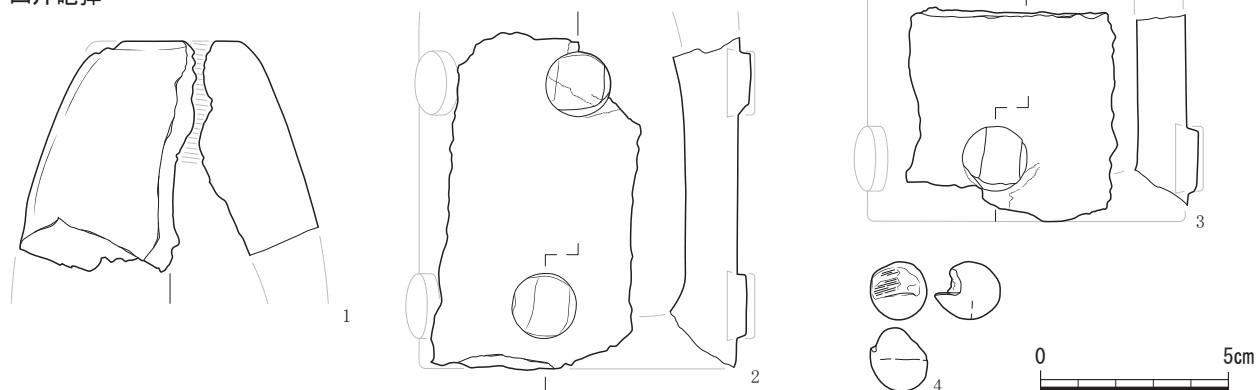
スナイドル銃弾



第27図 金属探知機採集遺物 小銃弾1



四斤砲弾



第 28 図 金属探知機採集遺物 小銃弾 2・四斤砲弾

(2) その他の遺物

鉄製品 (第29図1・2)

1・2とも不明鉄製品である。2はL字形を呈しており、あるいは壁掛けの可能性はある。頭部の内角は丸味が無く直角に曲がっており、これは鑿で刻み目を入れた面を谷折りしたことを示している。

銭貨 (第29図3～5)

3は寛永通宝である。4は明治九年銘の竜5銭銀貨で、西南戦争関連遺跡からの銀貨出土は稀有といえる。3の桐1銭青銅貨は大正9年銘で、西南戦争後の混入品である。

土器・陶磁器 (第29図6～第32図79)

6～33は古代の土器類である。うち6～20は1トレンチ1号土坑出土資料で、出土状況から小片を含め廃棄されたものとみられる。土器型式も9世紀前半～中頃に収まっており、一括資料と評価される。6～13は土師器供膳具で、うち10・11・13は赤彩が認められる。14～18は須恵器供膳具である。19の土師器壺・20の土師器甕は口頸部が長く伸び、体部外面にカキメを施すもので、これらは9世紀中頃の属性である。21～33は、遺構外出土の古代の土器類である。8世紀末～9世紀前半の型式が多い。32の須恵器瓶は、器面が橙色を帯びながらも焼成は良好であること、内面にタタキ整形を施した際の指頭状の圧痕が認められることから荒尾産と判断される。

34～49は中世前期の土器・国産陶器類である、うち34～46は土師器供膳具である。12世紀中頃～13世紀代の資料が多い。34の坏は10世紀後半～11世紀代に位置付けられるものであるが、この時期には坏・小皿を主体とする中世的な土器供膳具の組成が確立することをもって、ここで扱っている。45の小皿については、器形の特徴から中世後期に降る可能性もある。38の小皿は、底部に焼成前の穿孔が認められ灯蓋として製作されたものといえるが、煤などの付着は認められない。47a～47cは中世須恵器甕である。以下に述べる特徴と出土位置(いずれも9トレンチ出土)から、3片を同一個体と判断した。円の中に放射状線を刻んだ所謂車輪文とこれらの間を格子状の線で繋ぐという装飾的な外面タタキ文が特徴で、極稀な資料といえる。内面は、年輪によるとみられる同心円状の凹凸がうっすらと認められることから、恐らくは無文の当て具を用いた成形後ハケメ・ナゲ調整を施したと判断される。これらは一連叩打技法成形による中世須恵器の特徴である。13世紀後半～14世紀初頭の在産品と判断する。48・49は国内産の搬入品である。48は東海産陶器鉢で、胎土等から常滑産の可能性を指摘できる。熊本県内においては稀少例である。49は東播系須恵器鉢で、12世紀後半～13世紀初頭に位置付けられる。熊本県内において東播系須恵器の量化が始まる時期の資料といえる。

50～61は中世前期の中国産磁器である。50～59は龍泉窯系青磁、60・61は閩江流域を主体とする福建省産の白磁である。概ね12世紀中頃～13世紀代に位置付けられ、土師器供膳具・国内搬入品などと時期様相は共通する。

62～71は中世後期の瓦質土器である。66は鏝が付く肥後型の鍋で、本来は口縁部～鏝部に、吊手を通す穴を穿った瘤状の把手が2個一対で付される。八代平野において多く認められるが、県央・県北部では一般的ではない型式である。67～69は火鉢である。うち69の火鉢脚部は、通常の火鉢とは異なり装飾的な形状であり、あるいは風炉の可能性も考慮される。いずれにせよ、嗜好性の高いものといえる。72は備前焼播鉢である。14世紀後半の所産で、熊本県の出土事例としては最古段階の型式である。

73～79は肥前・肥前系の磁器供膳具である。江戸時代後期以降のもので、いずれも西南戦争時に使用されたものとして齟齬は無い型式といえる。78は化学コバルト型紙摺りの平形碗で明治・大正期に、その他は18世紀末～19世紀中頃に位置付けられる。

石製品 (第32図80～83)

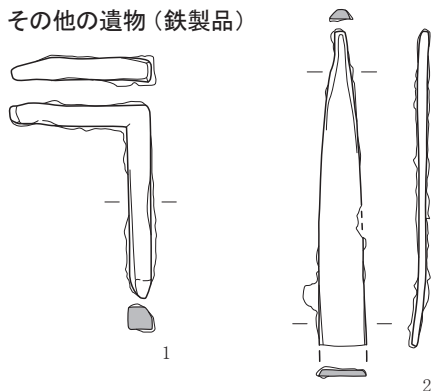
80は流紋岩製の砥石である。恐らくは天草産であろう。現状4面を使用しており、縁辺・側面には刃

物を縦に研いだとみられる傷状の痕跡も認められる。81は粘板岩製の石板である。図上側面の破面は表裏両面に刻された細線のところから割れており、意図的な欠失の可能性を指摘できる。3は石匙、4は石鏃である。縄文時代の資料である。

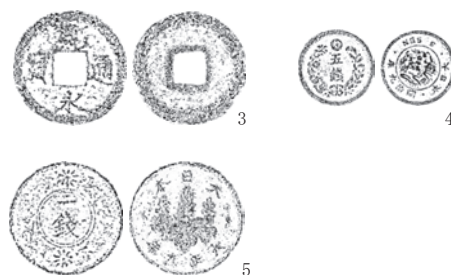
銅製品ほか（第32図84～91）

84～86は銅製品、うち84・85は煙管である。ともに羅宇竹が残存する。87は熔解鉛塊である。西南戦争当時、小銃弾を溶かした（再鑄した）ものの可能性もあるが、「鉛を溶かして遊んでいた」との地元住民からの聞き取り情報もあり、断定できるものではない。88・89は鉄滓である。88は椀形滓で上下両面に木炭痕が認められる。90は布目瓦、古代の所産であろう。厚さ10～13mmの小片のため瓦種は不明である。91は焼成粘土塊である。繊維状圧痕が認められる。胎土は古代の土師器類に共通する。

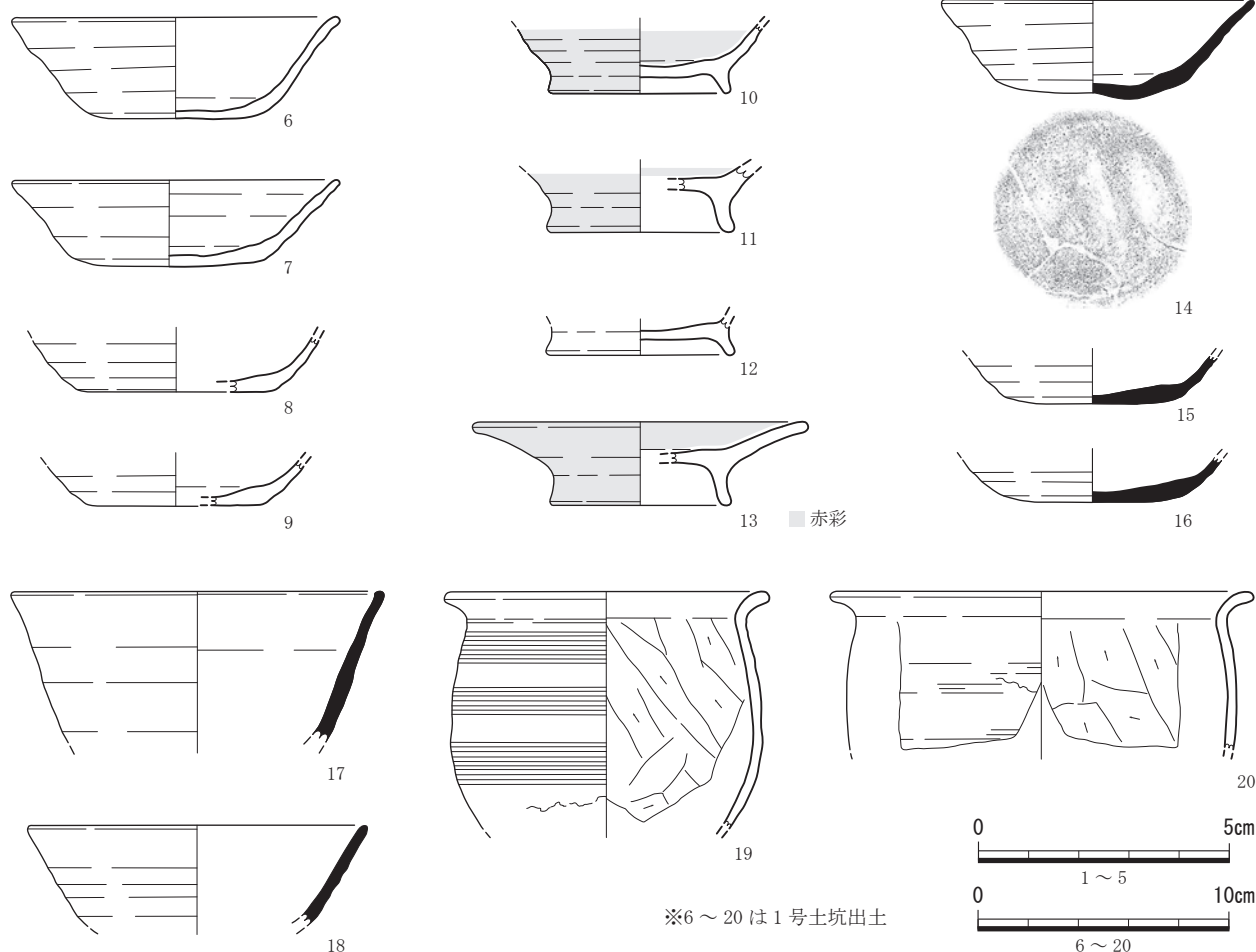
その他の遺物（鉄製品）



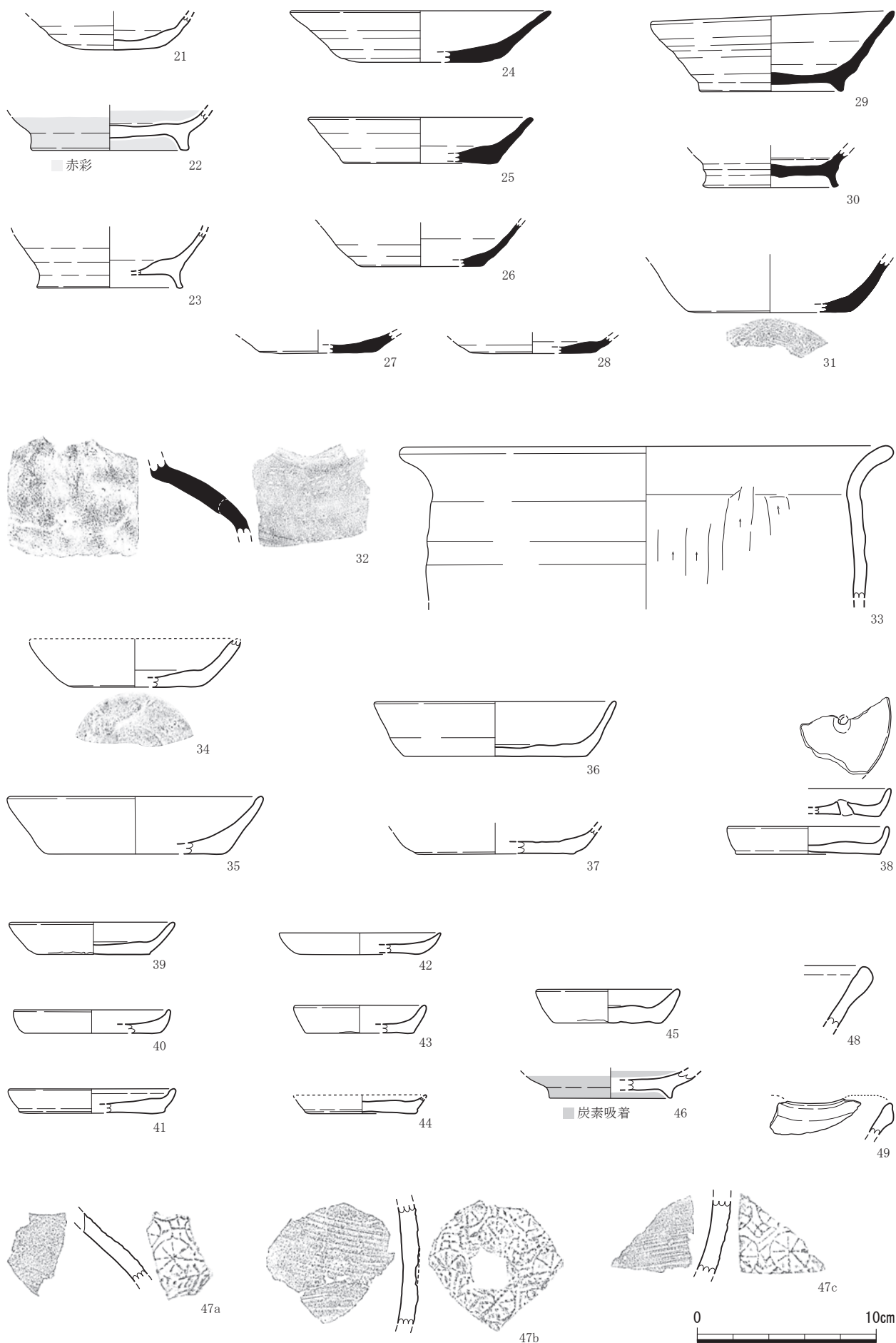
その他の遺物（銭貨）



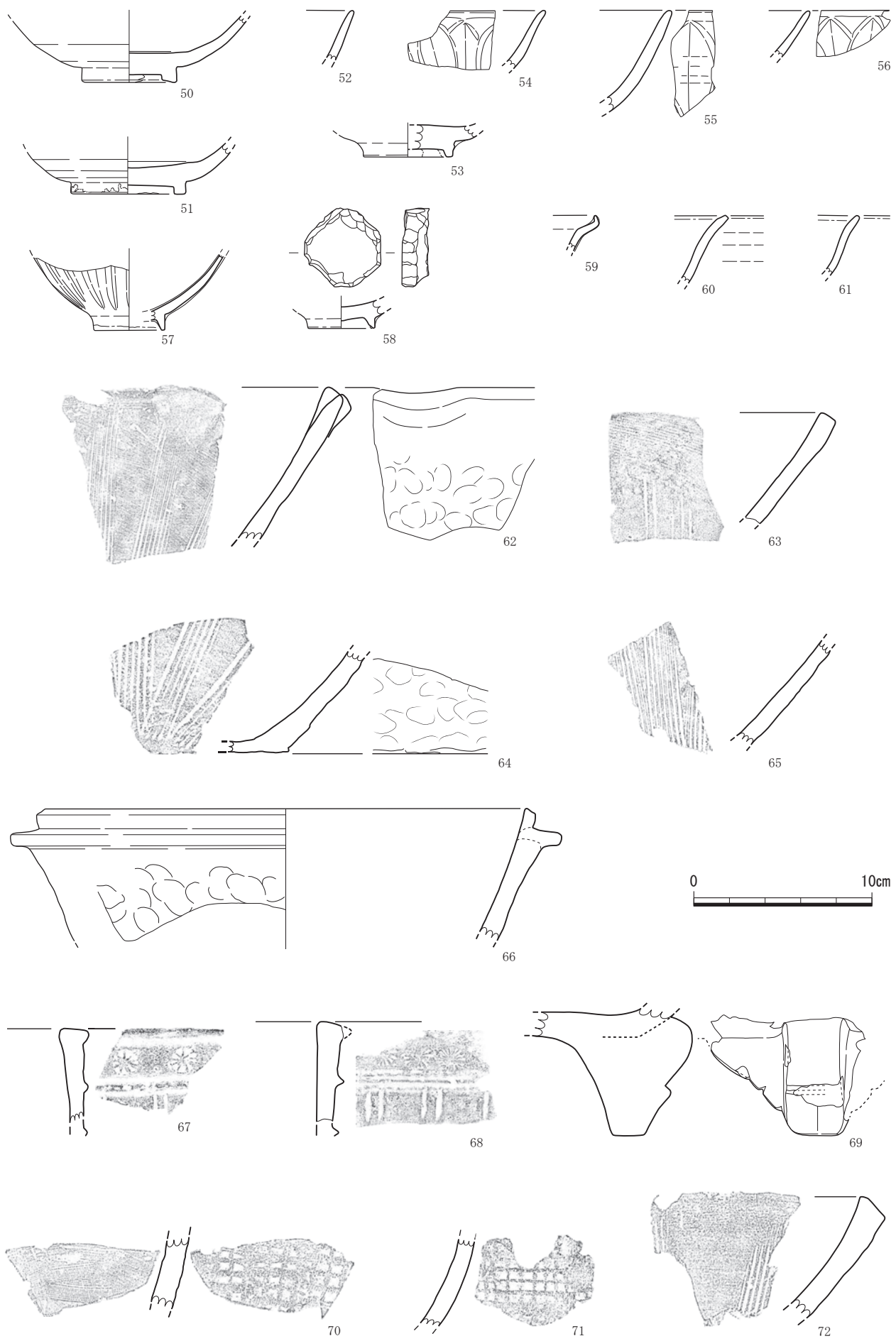
土器・陶磁器類



第29図 その他の遺物－鉄製品，銭貨，土器・陶磁器類1

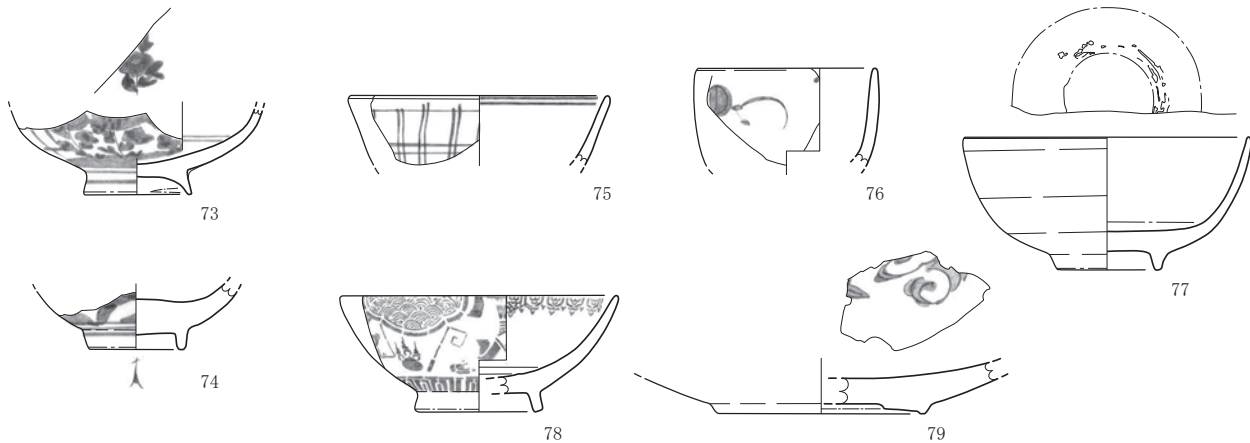


第30図 その他の遺物 - 土器・陶磁器類 2

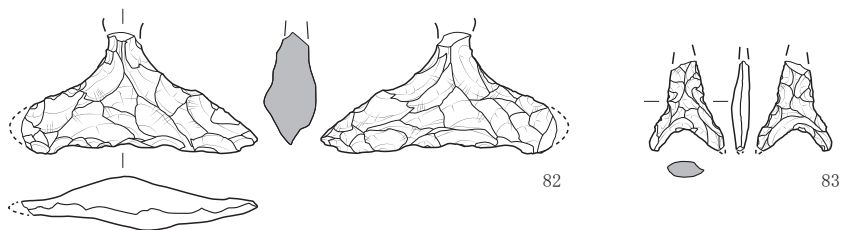
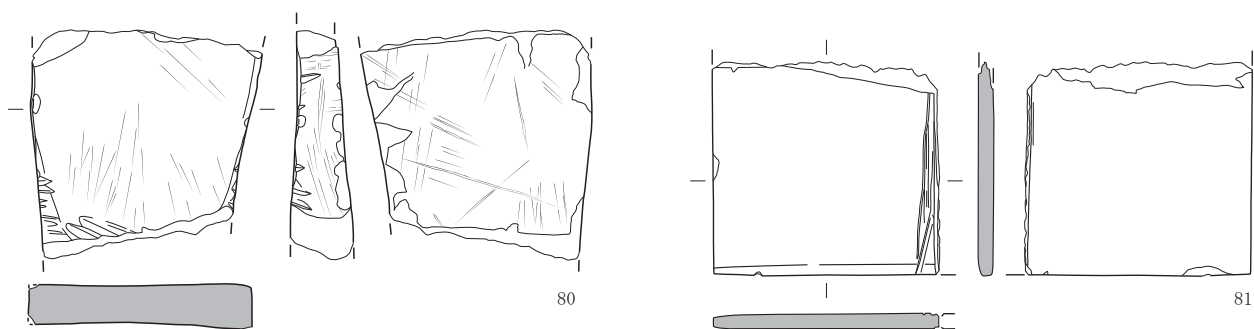


第31図 その他の遺物 - 土器・陶磁器類 3

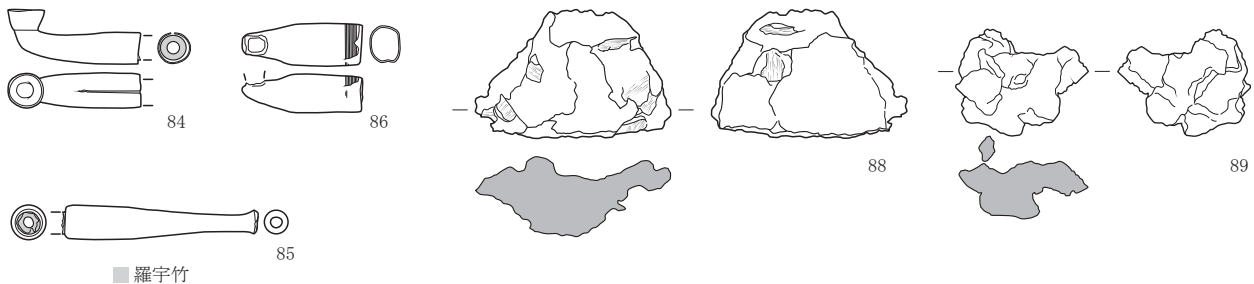
土器・陶磁器類



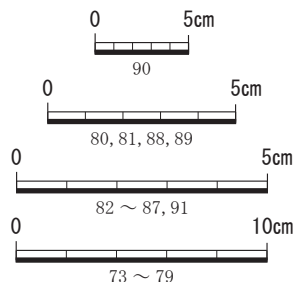
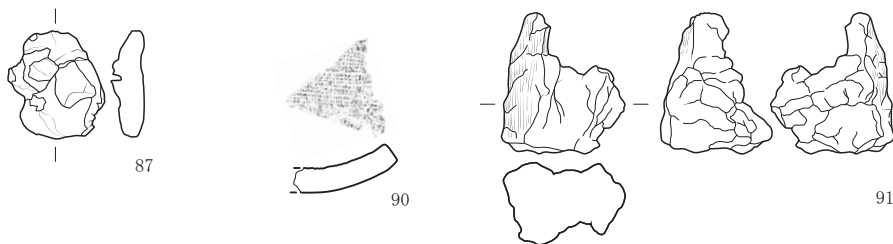
石製品



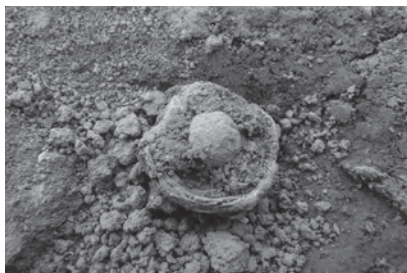
銅製品ほか



■ 羅字竹



第 32 図 その他の遺物 - 土器・陶磁器類 4, 石製品, 銅製品ほか



スナイドル薬莖 5



スナイドル銃弾 13

調査地名	トレンチ名	幅	長さ	面積㎡	挿図No.
田原城跡・ 田原寺跡	1T	1.00	9.50	9.50	1, 2、その他 : 21, 22, 26 ~ 29, 32, 36, 40 ~ 42, 45, 48 ~ 51, 54, 55, 57, 59, 63 ~ 65, 71
	2T	1.00	52.40	54.70	3 ~ 15、その他 : 44, 46, 73, 74, 77, 79
		0.90	2.30		
	3T	1.00	23.70	23.70	
	4T	1.00	5.70	5.70	16
	5T	1.00	8.30	8.30	17、その他 : 30, 37
	6T	1.00	17.50	17.50	18、土その他 : 31, 35
	7T	1.00	23.70	23.70	
		1.00	6.60	23.42	19 ~ 23
	2.90	5.80			
	9T	1.00	12.00	12.00	24、その他 : 24, 38, 39, 43, 53, 56, 60 ~ 62, 68 ~ 70, 72, 80, 81
	10T	1.00	7.60	7.60	
	11T	1.00	11.30	11.30	その他 : 52, 67, 82
	12T	1.00	15.30	15.30	その他 : 83
	13T	0.90	3.60	3.24	16, 35, 95, 25 ~ 33
	14T	1.90	3.80	7.22	19, 30, 32, 46, 83, 87, 88, 90, 34 ~ 52
15T	1.90	2.10	3.99	53 ~ 60、その他 : 23, 33, 34	
16T	3.80	3.90	14.82	65, 68, 71, 61 ~ 134、その他 : 75, 76, 78	



スナイドル銃弾 20



スナイドル銃弾 38



スナイドル銃弾 43



スナイドル銃弾 54



スナイドル銃弾 57



スナイドル銃弾 64



エンフィールド銃弾 107



小径銃弾 109



四斤砲弾 1



霰弾子 4



土器・陶磁器 29



土器・陶磁器 50

第7表 田原城跡・田原寺跡調査地 出土遺物観察表

スナイドル未使用弾 (第26図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	弾頭部									薬莖底部					備考
			分類	圈溝			栓 材/色	計測値(mm/g)			分類	抽筒 板	計測値(mm/g)				
				数	形	刻目		全長	最大径	重さ			現存長	径	重さ		
1	す1180	P4	B	4	鋸	○	陶/茶	27.6	14.3	29.8	—	—	—	—	—	旧Y74	
2	す1177	P1	A2	4	鋸	×	—	28.6	16.6	28.4	—	—	—	—	—	刻印有●	
3	す1179	P3	A2	3	鋸	×	—	27.6	15.2	25.8	—	—	—	—	—		
4	す1178	P2	B	4	鋸	×	—	26.0	15.0	26.9	—	—	—	—	—		
5	す1181	P5	B	4	鋸	○	陶/茶	25.8	14.8	28.5	—	—	—	—	—		

スナイドル薬莖 (第24図～第26図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	抽筒 板	計測値(mm/g)			備考	挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	抽筒 板	計測値(mm/g)			備考
					現存長	径	重さ							現存長	径	重さ	
1	す1213	R32	2b	鉄	7.0	17.0	4.2	1T	37	す1211	R30	2b	鉄	7.6	17.0	4.0	
3	す1270	R89	2b	鉄	10.0	17.0	6.2	2T, 手てんご	38	す1184	R3	2b	鉄	8.2	17.0	4.7	
4	す1215	R34	2b	鉄	8.0	17.0	4.2	2T, 雷上欠	39	す1263	R82	2b	鉄	8.0	17.0	3.9	
5	す1216	R35	2b	鉄	7.0	17.0	3.0	2T	40	す1288	R107	2b	鉄	8.0	17.0	4.8	
6	す1217	R36	2b	鉄	8.0	17.0	3.0	2T, 抽筒板欠	41	す1187	R6	2b	鉄	7.0	17.0	3.1	雷管室上部欠
7	す1218	R37	2b	鉄	9.0	17.0	3.1	2T	42	す1205	R24	2b	鉄	8.0	17.0	4.2	
8	す1220	R39	2b	鉄	8.0	17.0	2.8	2T	43	す1274	R93	2b	鉄	8.5	17.0	4.9	
9	す1219	R38	2b	鉄	7.0	13.5	1.6	2T, 底蓋欠	44	す1255	R74	2b	鉄	6.0	17.0	3.9	雷管室上部欠
10	す1221	R40	2b	鉄	7.4	17.0	4.4	2T	45	す1231	R50	2b	鉄	7.0	17.0	3.0	雷管室上部欠
11	す1214	R33	2b	鉄	8.0	17.0	2.5	2T	46	す1227	R46	2b	鉄	7.0	17.0	3.2	雷管室上部欠
18	す1253	R72	2b	鉄	6.0	17.0	3.9	6T, 雷上欠	47	す1196	R15	2b	鉄	8.5	17.0	2.8	
25	す1271	R90	2b	鉄	34.0	18.5	10.4	13T	48	す1193	R12	2b	鉄	8.0	17.0	3.7	
34	す1277	R96	2b	鉄	10.0	17.0	5.3	14T 雷管室上部欠	49	す1201	R20	2b	鉄	7.0	17.0	4.4	
35	す1276	R95	2b	鉄	8.0	17.0	5.4	14T 噴火口が太い	50	す1257	R76	2b	鉄	8.0	17.0	3.9	
36	す1275	R94	2b	鉄	9.5	17.0	5.3	14T, 詰物欠	51	す1224	R43	2b	鉄	8.0	18.0	2.9	
53	す1278	R97	2b	鉄	12.0	17.0	6.6	15T, 雷管室 取れかけ	52	す1190	R9	2b	鉄	7.0	17.0	3.2	
54	す1272	R91	2b	鉄	7.0	17.0	5.2	15T 雷管室上部欠	53	す1199	R18	2b	鉄	7.0	16.0	3.2	
55	す1273	R92	2b	鉄	9.5	17.0	3.7	15T	54	す1188	R7	2b	鉄	6.5	17.0	3.2	
61	す1261	R80	2b	鉄	11.5	17.0	5.9	16T	55	す1283	R102	2b	鉄	5.0	17.0	3.5	雷管室上部欠
62	す1260	R79	2b	鉄	15.0	17.0	3.9	16T	56	す1206	R25	2b	鉄	8.0	17.0	3.4	
6	す1242	R61	2b	鉄	10.5	17.0	4.2		57	す1204	R23	2b	鉄	7.5	17.0	3.3	
7	す1197	R16	2b	鉄	6.2	17.0	2.6	雷管室上部欠	58	す1233	R52	2b	鉄	8.0	17.0	3.3	抽筒板欠
8	す1280	R99	2b	鉄	6.5	17.0	5.4		59	す1240	R59	2b	鉄	8.5	17.0	2.8	抽筒板欠
9	す1265	R84	2b	鉄	13.5	17.0	5.7		60	す1249	R68	2b	鉄	8.0	17.0	3.8	詰物欠
10	す1235	R54	2b	鉄	12.5	17.0	5.3	雷管室上部欠	61	す1198	R17	2b	鉄	8.0	17.0	3.5	抽筒板欠
11	す1226	R45	2b	鉄	13.9	17.0	4.7		62	す1252	R71	2b	鉄	8.0	17.0	3.1	詰物欠
12	す1258	R77	2b	鉄	11.0	17.0	6.1		63	す1203	R22	2b	鉄	8.0	17.0	3.1	抽筒板欠
13	す1268	R87	2b	鉄	10.5	17.0	6.1		64	す1222	R41	2b	鉄	8.0	17.0	2.9	抽筒板欠
14	す1267	R86	2b	鉄	9.0	17.0	6.0		65	す1256	R75	2b	鉄	8.0	17.0	3.4	抽筒板欠
15	す1229	R48	2b	鉄	9.5	17.0	5.0		66	す1186	R5	2b	鉄	6.0	17.0	3.2	抽筒板欠
16	す1246	R65	2b	鉄	8.0	17.0	4.5		67	す1254	R73	2b	鉄	9.0	17.0	2.7	抽筒板欠
17	す1230	R49	2b	鉄	7.0	17.0	5.8		68	す1241	R60	2b	鉄	9.0	17.0	3.7	抽筒板欠
18	す1237	R56	2b	鉄	7.5	17.0	5.0	雷管室上部欠	69	す1238	R57	2b	鉄	7.0	17.0	3.5	
19	す1287	R106	2b	鉄	8.5	17.0	5.4		70	す1192	R11	2b	鉄	8.0	17.0	3.3	抽筒板欠
20	す1262	R81	2b	鉄	9.0	17.0	3.3		71	す1182	R1	2b	鉄	7.8	17.0	3.7	
21	す1250	R69	2b	鉄	9.0	17.0	4.0	雷管室上部欠	72	す1236	R55	2b	鉄	10.0	17.0	3.4	
22	す1279	R98	2b	鉄	7.5	17.0	5.2		73	す1183	R2	2b	鉄	8.8	16.5	3.1	抽筒板欠
23	す1207	R26	2b	鉄	6.5	17.0	5.2		74	す1282	R101	2b	鉄	8.0	17.0	2.6	
24	す1223	R42	2b	鉄	7.0	17.0	5.3		75	す1243	R62	2b	鉄	9.0	17.0	3.2	抽筒板欠
25	す1284	R103	2b	鉄	7.5	17.0	4.7		76	す1247	R66	2b	鉄	9.5	17.0	3.3	抽筒板欠
26	す1251	R70	2b	鉄	7.0	17.0	4.6		77	す1244	R63	2b	鉄	7.0	17.0	2.9	抽筒板欠
27	す1225	R44	2b	鉄	7.0	17.0	4.2	詰物欠	78	す1200	R19	2b	鉄	8.0	17.0	3.2	
28	す1234	R53	2b	鉄	7.5	17.0	4.6		79	す1286	R105	2b	鉄	7.5	17.0	2.6	抽筒板欠
29	す1208	R27	2b	鉄	7.5	17.0	4.6	詰物欠	80	す1202	R21	2b	鉄	8.0	17.0	2.8	
30	す1266	R85	2b	鉄	10.0	17.0	5.8		81	す1191	R10	2b	鉄	8.0	17.0	3.0	抽筒板欠
31	す1245	R64	2b	鉄	8.0	17.0	5.0		82	す1228	R47	2b	鉄	8.0	17.0	2.6	抽筒板欠
32	す1239	R58	2b	鉄	9.0	17.0	4.0		83	す1189	R8	2b	鉄	8.0	17.0	2.8	抽筒板欠
33	す1232	R51	2b	鉄	8.5	17.0	3.9		84	す1210	R29	2b	鉄	7.0	17.0	2.4	抽筒板欠
34	す1259	R78	2b	鉄	7.5	17.0	4.8		85	す1209	R28	2b	鉄	9.0	17.0	2.2	抽筒板欠
35	す1264	R83	2b	鉄	7.0	17.0	4.8		86	す1195	R14	2b	鉄	8.0	15.4	1.7	抽筒板欠
36	す1212	R31	2b	鉄	7.5	17.0	3.5		87	す1194	R13	2b	鉄	8.0	13.0	2.4	
									88	す1248	R67	2b	鉄	7.5	17.0	2.3	抽筒板欠
									89	す1185	R4	2b	鉄	8.0	17.0	2.1	抽筒板欠
									90	す1285	R104	2b	鉄	8.0	16.0	1.7	抽筒板欠
									91	す1281	R100	2b	鉄	7.5	12.0	1.5	抽筒板欠

スペンサー葉莢 (第24図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	抽筒 板	計測値(mm/g)			備考
					現存長	径	重さ	
24	す1269	R88	—	—	23.5	15.5	3.0	9T

スナイドル銃弾 (第24図・第25図・第27図・第28図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
2	オ413	Y3	B	4	鋸	○	—	5	27.0	15.0	29.3	1T
12	オ428	Y18	P1	4	角	×	—	5	26.3	14.3	35.6	2T, 円台孔丸い(ドーム型)
13	オ431	Y21	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	25.4	14.7	29.4	2T
14	オ429	Y19	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	24.7	15.5	28.5	2T
15	オ430	Y20	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.8	14.8	29.6	2T
16	オ420	Y10	小片	3	—	—	—	不明	11.2	21.2	3.4	4T
17	オ415	Y5	小片	3	—	—	—	不明	17.3	15.5	2.5	5T
19	う498	Y38	A1	4	鋸	×	—	不明	25.5	19.0	28.9	8T, 弾頭木栓残存有
20	シ657	Y62	A2	4	鋸	○	—	不明	25.5	14.8	29.0	8T
21	う499	Y39	A2	4	鋸	○	—	5	25.5	14.8	29.4	8T
22	シ658	Y63	A2	4	鋸	×	—	5	25.0	14.5	28.6	8T
23	シ659	Y64	A2	4	鋸	×	—	5	25.2	14.7	28.2	8T
26	す1059	Y140	A2	4	鋸	○	—	5	25.3	14.6	29.3	13T
27	す1060	Y141	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	26.4	14.4	29.6	13T
28	す1047	Y128	A2	2	鋸	×	—	5	26.0	15.0	28.3	13T
29	す1049	Y130	A2	4	鋸	○	—	5	23.0	16.4	28.5	13T
30	す1044	Y125	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.0	29.5	29.7	13T
31	す1048	Y129	B	4	鋸	×	—	5	28.5	15.5	29.4	13T, 刻印有⊖
32	す1045	Y126	B	4	鋸	×	陶/灰	5	25.7	14.8	30.2	13T, 陶栓外れる
33	す1046	Y127	B	4	鋸	○	—	5	23.8	15.6	29.7	13T
37	す1067	Y149	P4	4	丸	×	—	5	26.0	14.5	32.6	14T
38	す1050	Y131	P4	4	丸	×	—	5	25.7	14.8	32.0	14T
39	す1053	Y134	P4	4	丸	×	—	5	24.5	15.0	32.5	14T
40	す1066	Y148	A2	4	鋸	×	—	5	24.7	14.4	28.6	14T
41	す1063	Y144	A2	4	鋸	×	—	5	26.4	14.5	32.1	14T
42	す1055	Y136	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.5	14.8	29.5	14T
43	す1056	Y137	A2	4	鋸	○	—	5	24.5	14.5	29.1	14T
44	す1058	Y139	A2	4	鋸	○	—	5	25.6	14.3	29.1	14T
45	す1051	Y132	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	24.7	14.7	30.0	14T
46	す1064	Y146	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.0	15.0	29.9	14T
47	す1074	Y143	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	25.0	14.7	30.3	14T, 陶栓外れる
48	す1061	Y142	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.5	14.3	29.7	14T
49	す1065	Y147	A2	4	鋸	○	—	5	24.0	14.4	28.7	14T
50	す1052	Y133	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.3	15.2	30.4	14T
51	す1057	Y138	B	4	鋸	×	—	5	23.0	18.4	28.7	14T
56	す1068	Y150	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	25.2	24.4	29.3	15T
57	す1072	Y154	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.0	14.6	30.0	15T
58	す1069	Y151	A2	4	鋸	○	—	5	25.6	14.4	29.2	15T
59	す1071	Y153	A2	4	鋸	○	—	5	25.4	15.0	29.0	15T
60	す1070	Y152	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.7	14.7	29.9	15T
63	シ639	Y44	P4	4	丸	×	—	5	24.8	14.7	32.7	16T
64	シ637	Y42	P4	4	丸	×	—	5	24.9	14.1	32.0	16T
65	シ643	Y48	P4	4	丸	×	—	5	25.3	14.2	32.0	16T
66	シ641	Y46	A1	4	鋸	×	陶/茶	5	27.4	13.8	28.7	16T, 弾頭木栓残存有
67	シ650	Y55	A1	4	鋸	×	—	5	27.0	14.0	28.4	16T, 弾頭木栓残存有
68	す1087	Y169	A1	4	鋸	×	—	5	27.5	14.0	28.3	16T, 弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
69	す1108	Y190	A1	4	鋸	×	陶/茶	不明	27.0	14.4	29.2	16T, 弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
70	す1447	Y223	A1	4	鋸	×	陶/茶	5	23.7	17.7	29.6	16T, 弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
71	シ644	Y49	A1	3	鋸	×	陶/茶	不明	22.8	18.6	27.9	16T, 弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
72	シ675	Y201	A1	4	鋸	○	陶/灰	5	21.0	22.6	27.5	16T, 弾頭木栓残存無
73	す1115	Y197	A1	4	鋸	×	木	5	24.6	17.1	29.3	16T, 弾頭木栓残存無, 木栓外れる
74	す1118	Y200	A1	4	鋸	×	—	不明	27.0	18.0	28.4	16T, 弾頭木栓残存有, 弾頭木栓外れる
75	シ649	Y54	A2	4	鋸	×	—	5	26.9	14.7	27.2	16T
76	シ645	Y50	A2	4	鋸	○	陶/茶	不明	25.1	14.2	28.9	16T
77	シ648	Y53	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.8	14.4	29.3	16T
78	す1442	Y218	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	14.6	29.5	16T
79	す1099	Y181	A2	4	鋸	×	—	5	25.4	14.7	28.5	16T
80	す1431	Y207	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.8	15.0	29.1	16T
81	シ651	Y56	A2	4	鋸	×	—	5	25.8	14.5	28.0	16T

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
82	す1090	Y172	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	14.7	29.3	16T
83	す1430	Y206	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.7	15.0	29.3	16T
84	す1093	Y175	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	25.0	14.5	29.0	16T
85	す1097	Y179	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	24.8	14.4	28.7	16T
86	す1095	Y177	A2	4	鋸	×	—	5	23.5	14.7	28.2	16T
87	シ677	Y203	A2	4	鋸	×	—	不明	22.4	14.5	26.6	16T
88	す1106	Y188	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	24.5	14.7	29.1	16T
89	す1109	Y192	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	23.2	14.7	28.9	16T
90	す1114	Y196	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.2	14.6	29.2	16T
91	シ642	Y47	A2	4	鋸	○	—	5	22.5	22.4	27.2	16T
92	す1443	Y219	A2	4	鋸	○	—	不明	18.5	24.7	27.6	16T, 刻印有㊟
93	す1096	Y178	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	15.8	23.8	27.3	16T
94	す1428	Y204	A2	2	鋸	×	陶/茶	不明	17.4	25.2	27.6	16T
95	す1429	Y205	A2	4	鋸	○	—	5	16.9	25.8	28.6	16T
96	す1086	Y168	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	17.0	33.5	28.3	16T
97	す1110	Y191	A2	4	鋸	○	—	不明	20.0	33.6	28.8	16T
98	す1432	Y208	A2	4	鋸	×	—	5	22.4	18.5	28.1	16T
99	す1101	Y183	A2	4	鋸	×	—	不明	27.0	17.8	28.7	16T
100	す1113	Y195	A2	3	鋸	×	—	不明	12.4	29.2	9.4	16T
101	す1439	Y215	A2	4	鋸	×	—	不明	19.6	39.5	27.8	16T
102	す1441	Y217	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	15.6	36.2	18.4	16T
103	す1116	Y198	A2	4	鋸	○	陶/茶	不明	14.3	47.0	27.0	16T
104	す1088	Y170	A2	4	鋸	×	—	不明	14.5	35.9	19.8	16T
105	す1102	Y184	A2	4	鋸	○	—	不明	13.6	40.0	14.7	16T
106	シ640	Y45	A2	4	鋸	×	—	不明	19.6	30.4	14.4	16T
107	す1089	Y171	A2	4	鋸	×	—	不明	11.2	38.6	17.6	16T
108	シ652	Y57	A2	4	鋸	×	—	不明	14.9	27.6	6.4	16T
109	す1117	Y199	A2	4	鋸	×	—	不明	11.5	58.4	17.3	16T
110	す1440	Y216	A2	4	鋸	×	—	不明	14.4	33.0	10.2	16T
111	す1433	Y209	A2	4	鋸	×	—	不明	18.6	56.7	21.3	16T
112	シ676	Y202	A2	4	鋸	×	—	不明	15.8	47.5	17.8	16T
113	シ636	Y41	A2	4	鋸	○	—	不明	20.1	36.2	22.7	16T
114	す1436	Y212	B	4	鋸	×	陶/茶	5	26.8	15.5	31.5	16T
115	す1100	Y182	B	4	鋸	×	—	5	25.5	15.0	29.5	16T
116	す1091	Y173	B	4	鋸	×	—	5	25.5	15.0	28.4	16T
117	す1111	Y193	B	4	鋸	○	—	不明	26.5	14.8	30.0	16T, 刻印有⊖
118	す1105	Y187	B	4	鋸	×	—	5	29.2	14.3	29.0	16T, 刻印有⊖
119	す1434	Y210	B	4	鋸	×	陶/灰	5	25.4	15.8	30.4	16T
120	す1438	Y214	B	4	鋸	×	—	5	21.0	18.5	28.3	16T
121	す1107	Y189	B	4	鋸	×	—	5	22.7	19.5	30.5	16T
122	す1094	Y176	B	4	鋸	×	木	5	20.0	21.5	29.0	16T, 木栓外れる
123	す1444	Y220	B	4	鋸	×	—	不明	20.6	19.0	29.2	16T
124	す1084	Y167	小片	4	—	—	—	不明	15.7	18.2	4.8	16T
125	す1103	Y185	小片	4	—	—	—	不明	11.0	19.6	6.1	16T
126	す1092	Y174	小片	4	鋸	—	—	不明	22.0	18.2	7.5	16T
127	シ647	Y52	小片	4	—	—	—	不明	10.4	21.4	6.9	16T
128	す1112	Y194	小片	3	—	○	—	不明	14.8	15.4	3.8	16T
129	す1104	Y186	小片	2	—	—	—	不明	14.7	21.5	2.5	16T
130	す1435	Y211	小片	—	—	—	陶/茶	不明	11.6	18.0	3.4	16T
131	シ638	Y43	小片	2	—	—	—	不明	12.9	10.8	2.2	16T
132	す1437	Y213	小片	—	—	—	—	不明	15.2	26.6	7.9	16T
133	シ646	Y51	小片	4	—	—	—	不明	14.5	20.6	6.6	16T
134	す1446	Y222	小片	—	—	—	—	不明	10.6	24.0	7.5	16T
金属探知機遺物(第27図・第28図)												
1	す1006	Y87	P2	4	丸・鋸?	×	木	5	26.4	15.2	32.7	刻印有㊟, 木栓外れる
2	す1007	Y88	P4	4	丸	×	陶/茶	5	27.0	14.3	33.3	
3	う500	Y40	P4	4	丸	×	—	5	26.3	14.4	33.2	
4	シ665	Y70	P4	4	丸	×	—	不明	26.0	14.2	32.6	
5	う494	Y34	P4	4	丸	×	—	不明	24.6	14.8	31.2	
6	す1002	Y83	P4	4	丸	×	—	不明	24.8	14.3	31.8	
7	す1004	Y85	A1	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	15.0	30.7	弾頭木栓残存有
8	す1034	Y115	A1	4	鋸	×	—	5	25.6	14.5	29.5	弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
9	す1033	Y114	A1	4	鋸	○	—	5	22.3	18.6	29.1	弾頭木栓残存有, 弾頭木栓動く
10	す1023	Y104	A1	4	鋸	×	—	不明	26.0	19.2	29.3	弾頭木栓残存有
11	シ653	Y58	A2	4	鋸	×	—	5	25.6	14.2	28.4	

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
12	才421	Y11	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.1	15.0	29.7	
13	才423	Y13	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	27.0	14.6	29.4	
14	す1453	表採	A2	4	鋸	×	—	5	26.0	14.8	28.0	仮No.3/3
15	シ664	Y69	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	26.1	14.4	29.0	
16	す1080	Y162	A2	4	鋸	○	—	不明	25.7	14.9	29.1	13T
17	才426	Y16	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.5	15.0	29.1	
18	シ672	Y78	A2	4	鋸	×	—	5	24.9	14.5	28.4	
19	す1076	Y158	A2	4	鋸	×	陶/灰	5	23.7	15.0	30.8	14T
20	う493	Y33	A2	4	鋸	○	—	5	22.3	14.2	28.4	
21	才435	Y25	A2	3	鋸	○	—	5	24.8	15.0	27.6	
22	す1037	Y118	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.4	14.8	29.7	
23	す1032	Y113	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	25.0	15.0	30.2	
24	う495	Y35	A2	4	鋸	○	—	5	25.3	14.7	29.0	
25	す1394	Y145	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	24.8	14.6	29.9	
26	す1041	Y122	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	26.2	14.8	29.0	
27	う489	Y29	A2	4	鋸	○	—	5	25.2	14.8	29.0	圏溝最下段に細線3~4本巡る
28	才425	Y15	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	25.3	14.3	29.4	
29	す1031	Y112	A2	4	鋸	○	—	5	25.0	14.8	28.8	
30	す1083	Y165	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	23.9	14.7	29.7	14T
31	す1030	Y111	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	23.0	16.0	29.0	
32	す1062	Y156	A2	3	鋸	○	陶/灰	5	26.6	14.3	29.4	14T
33	う497	Y37	A2	4	鋸	○	—	5	22.0	20.6	28.8	
34	シ660	Y65	A2	4	鋸	×	—	不明	24.6	14.6	28.5	
35	す1081	Y163	A2	2	鋸	×	—	5	24.2	16.0	27.7	13T
36	才437	Y27	A2	3	鋸	○	—	5	25.2	15.3	27.7	
37	う492	Y32	A2	4	鋸	○	—	5	24.0	14.8	28.4	
38	才419	Y9	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	21.9	21.0	27.6	
39	す1449	表採	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	18.0	27.0	29.1	
40	才427	Y17	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	27.8	15.0	27.8	
41	す1013	Y94	A2	4	鋸	×	—	5	22.5	15.6	27.7	
42	才432	Y22	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	23.7	15.0	28.9	
43	シ674	Y80	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	23.7	17.2	29.1	
44	す1036	Y117	A2	2	鋸	×	陶/茶	5	22.2	18.7	28.5	
45	す1038	Y119	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	21.8	21.6	29.0	
46	す1078	Y160	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	20.5	21.8	29.7	14T
47	す1015	Y96	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	20.2	23.4	29.3	
48	す1017	Y98	A2	4	鋸	×	—	不明	20.5	26.2	23.4	
49	す1020	Y101	A2	4	鋸	×	—	不明	22.0	21.2	24.1	
50	す1019	Y100	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	17.0	22.3	28.6	
51	す1009	Y90	A2	4	鋸	×	—	5	19.0	27.4	27.0	
52	す1016	Y97	A2	4	鋸	×	—	5	13.4	31.6	23.3	
53	す1011	Y92	A2	4	鋸	×	—	不明	24.6	14.6	27.8	
54	す1021	Y102	A2	4	鋸	○	—	不明	25.5	19.2	28.1	
55	才411	Y1	A2	4	鋸	×	—	5	23.3	18.1	28.1	
56	す1026	Y107	A2	4	鋸	○	陶/灰	5	24.7	20.0	28.6	新しい傷有
57	才438	Y28	A2	4	鋸	×	—	不明	25.6	20.4	27.8	新しい傷有
58	す1039	Y120	A2	4	鋸	×	—	不明	21.4	24.0	26.3	
59	才417	Y7	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	20.0	19.4	22.9	
60	才416	Y6	A2	4	鋸	×	—	不明	25.5	16.0	25.4	跳弾か、刀傷か
61	シ673	Y79	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	14.4	28.7	27.8	
62	す1028	Y109	A2	4	鋸	×	—	5	12.8	34.0	26.9	
63	す1035	Y116	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	11.4	32.2	27.1	
64	シ671	Y77	A2	4	鋸	○	—	不明	17.1	52.2	23.5	
65	シ656	Y61	A2	2	鋸	×	—	不明	13.7	36.6	17.4	16T
66	シ670	Y76	A2	2	鋸	×	—	不明	22.8	14.5	10.8	かなり変形している
67	す1024	Y105	A2	4	鋸	×	陶/茶	5	16.5	34.0	28.0	
68	す1085	Y166	A2	4	鋸	×	—	5	17.4	39.4	28.1	16T
69	す1010	Y91	A2	4	鋸	○	—	不明	20.0	39.0	26.1	
70	す1000	Y81	A2	4	鋸	×	—	不明	15.6	29.2	7.9	
71	す1098	Y180	A2	4	鋸	×	—	不明	12.2	31.5	14.2	16T
72	す1040	Y121	A2	4	鋸	×	—	不明	14.9	45.8	20.0	
73	す1005	Y86	A2	4	鋸	×	—	不明	19.6	23.8	12.2	
74	す1450	表採	A2	4	鋸	×	陶/茶	不明	34.3	38.1	26.7	平たく潰れている
75	す1451	表採	A2	2	鋸	×	—	不明	27.8	27.2	18.0	仮No.1/3, 平たく潰れている
76	シ666	Y71	A2	4	鋸	×	—	不明	12.8	39.6	26.3	

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	圏溝			栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形	刻目			全長	最大径	重さ	
77	う490	Y30	A2	4	鋸	×	—	不明	13.0	43.6	13.8	
78	シ655	Y60	A2	4	鋸	○	—	不明	14.6	27.8	13.0	
79	す1445	Y221	A2	4	鋸	×	—	不明	14.4	26.3	10.0	
80	シ669	Y75	B	4	鋸	×	—	5	26.1	14.6	28.9	
81	う496	Y36	B	4	鋸	×	—	5	25.5	14.4	27.7	
82	オ422	Y12	B	4	鋸	×	—	5	26.6	14.5	29.4	
83	す1075	Y157	B	4	鋸	×	—	5	25.4	14.4	29.1	14T
84	す1025	Y106	B	4	鋸	×	陶/茶	5	25.8	14.4	30.5	
85	オ424	Y14	B	4	鋸	×	陶/茶	5	26.1	14.4	29.9	
86	う491	Y31	B	4	鋸	×	—	5	25.2	14.7	29.2	
87	す1077	Y159	B	4	鋸	×	—	5	26.0	14.6	29.6	14T
88	オ433	Y23	B	4	鋸	×	—	5	25.6	14.8	29.3	
89	す1079	Y161	B	4	鋸	×	—	5	25.6	14.5	28.3	14T
90	す1073	Y155	B	4	鋸	×	—	5	26.0	15.8	30.2	14T, 刻印有⊖
91	す1008	Y89	B	4	鋸	○	—	5	26.7	15.5	30.0	
92	す1014	Y95	B	4	鋸	×	—	5	23.3	15.2	30.0	
93	す1027	Y108	B	4	鋸	×	—	5	21.4	16.6	29.1	
94	す1012	Y93	B	4	鋸	○	陶/茶	5	26.0	15.0	30.3	
95	す1082	Y164	B	4	鋸	×	陶/茶	5	26.0	14.7	30.8	13T
96	オ434	Y24	B	4	鋸	×	陶/茶	5	24.8	15.0	30.0	
97	オ412	Y2	B	4	鋸	×	陶/茶	5	21.4	17.3	28.6	
98	す1029	Y110	B	4	鋸	×	—	5	25.9	17.2	29.1	
99	す1001	Y82	B	4	鋸	×	—	5	24.5	16.2	29.5	
100	す1452	表採	B	4	鋸	×	—	不明	29.5	16.8	28.2	仮No.2/3
101	シ654	Y59	B	4	鋸	×	—	5	21.2	25.8	26.9	
102	オ414	Y4	小片	4	—	—	—	不明	16.3	25.3	8.5	
103	オ418	Y8	小片	4	—	—	—	不明	14.6	16.2	5.4	
104	す1003	Y84	A1/2	4	鋸	×	—	不明	13.0	31.0	10.2	
110	シ662	Y67	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	26.1	14.6	28.5	
111	す1042	Y123	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	24.8	15.0	30.1	
112	シ663	Y68	A2	4	鋸	○	陶/茶	5	25.8	14.5	29.4	全ての圏溝に細線3~4本巡る
113	シ661	Y66	A2	4	鋸	×	—	5	26.2	15.1	28.7	
114	す1043	Y124	A2	4	鋸	×	—	不明	26.4	19.2	27.7	新しい傷有

エンフィールド銃弾 (第28図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	分類	栓 材/色	腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
						全長	最大径	重さ	
106	シ668	Y73	b1	—	5	27.3	14.2	31.7	刻印有⊖
107	す1022	Y103	b1	—	不明	26.0	14.8	31.1	

その他の銃弾・不明小片・欠番 (第28図)

挿図 No.	実測 No.	種類	取上 No.	圏溝		腔綫 条	計測値(mm/g)			備考
				数	形		全長	最大径	重さ	
52	す1054	不明小片	Y135	—	—	不明	18.8	27.8	14.7	14T
105	す1018	不明小片	Y99	—	—	不明	9.6	17.5	3.1	
108	シ667	小径銃弾	Y72	4	鋸	5	28.8	13.6	29.6	元はスナイデル銃弾, A2, 陶栓/茶
109	オ436	小径銃弾	Y26	4	鋸	不明	27.6	14.0	28.2	元はスナイデル銃弾, A2, 陶栓/茶
	欠番	—	Y74	未使用弾P4へ変更						
	欠番	—	Y224	その他G16へ変更						

砲弾 (第28図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	計測値(mm/g)			備考	挿図 No.	実測 No.	遺物 No.	品名	計測値(mm/g)			備考
				縦	横	重さ						縦	横	重さ	
1	さ553	BL2	上部	56.0	49.0	235.5		3	さ552	BL1	胴部	56.0	52.0	195.5	
2	さ554	BL4	胴部	90.0	55.0	361.5		4	さ555	BL3	霰弾子	16.5	14.0	16.5	

その他の遺物—鉄製品 (第29図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	長さ※mm (残存長)	重さ※g	備考	挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	長さ※mm (残存長)	重さ※g	備考
1	す1645	B1	壁掛け?	39	6.8		2	す1646	B3	不明鉄製品	63	4.2	

その他の遺物—銭貨 (第29図)

挿図 No.	取上 No.	拓本 No.	銭種	年銘・初铸年	計測値(mm)			備考
					外径/内径	方孔縦/横	厚さa/b/c	
3	BR3	う598	寛永通宝(新寛永), 四ツ宝銭	宝永4年以前	23.0 / 18.6	5.6 / 5.8	1.2 / 1.0 / 1.2	
4	BR1	う596	竜5銭銀貨	明治9年	直径15.0	厚さ1.1		
5	BR2	う597	桐1銭青銅貨	大正9年	直径23.2	厚さ1.4		

その他の遺物—土器・陶磁器類 (第29図～第32図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	焼成形態	器種	口径	底径	器高	備考
					※cm,	()内復元値		
6	さ480	—	土師器	坏	12.9	6.8	4.0	9c前半 外：口縁～体部回転ナデ，底部ヘラ切離し後未調整 内(磨耗)：体部回転ナデ
7	さ479	—	土師器	坏	12.9	7.5	3.4	9c前半 外：口縁～体部回転ナデ，底部ヘラ切離し後未調整 内：回転ナデ，底部中央回転ナデ後静止ナデ
8	さ487	—	土師器	坏	—	(7.9)	—	9c前半 外：体部回転ナデ，底部ヘラ切離し 内(磨耗)：体～底部外周回転ナデ
9	さ488	—	土師器	坏	(7.1)	—	—	9c前半 外：体部回転ナデ，底部ヘラ切離し 内(磨耗)：体部回転ナデ
10	さ485	—	土師器	椀	—	7.3	—	9c前半 赤彩 外：体～高台部回転ナデ，高台内回転ナデ・中央ヘラ切離し 内：体～底部回転ナデ，底部中央回転ナデ後静止ナデ
11	さ484	—	土師器	椀	—	(7.2)	—	9c前半 赤彩 外：体～高台内部外周回転ナデ 内：体～底部外周回転ナデ
12	さ486	—	土師器	椀	—	(7.3)	—	9c前半～中頃 内外とも摩耗
13	さ483	—	土師器	托	(13.3)	(7.2)	3.3	9c中頃 赤彩 外：口縁～高台内部外周回転ナデ 内：口縁～底部外周回転ナデ
14	さ489	—	須恵器	坏	12.2	7.6	3.7	9c前半 磨耗 外：口縁～体部回転ナデ，底部板目に沿って歪む 内：口縁～体部回転ナデ
15	さ493	—	須恵器	坏	—	6.8	—	9c前半 外：体部回転ナデ，底部ヘラ切離し・板目 内：体～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
16	さ492	—	須恵器	坏	—	7.0	—	9c前半 外(磨耗)：体部回転ナデ 内：体～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
17	さ490	—	須恵器	椀	(14.7)	—	—	8c末～9c前半 内外：口縁～体部回転ナデ
18	さ491	—	須恵器	椀	(13.3)	—	—	9c前半 内外：口縁～体部回転ナデ 焼成：悪，胎芯黒灰色
19	さ481	—	土師器	壺	(12.9)	—	—	9c中頃 外：口頸部回転ナデ，体部上位カキメ・下位ナデ 内：口頸部回転ナデ，体部ヘラケズリ
20	さ482	—	土師器	甕	(16.8)	—	—	9c中頃 外：口頸部ナデ，体部カキメ 内：口頸部ナデ，体部ヘラケズリ
※6～20は1T1号土坑出土，一括資料								
21	さ498	GR16	土師器	坏	—	5.6	—	1T出土 9c前半～中頃 外(磨耗)：体部回転ナデ 内：体～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
22	さ507	—	土師器	椀	—	(8.8)	—	1T出土 8c末～9c前半 赤彩 外(磨耗)：腰～高台部回転ナデ，高台内中央ヘラ切離し 内：体部～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
23	す1556	—	土師器	椀	—	(8.1)	—	15T出土 9c前半 外：体～高台内部外周回転ナデ，高台内静止ナデ 内(磨耗)：体部回転ナデ
24	す1519	—	須恵器	坏	(14.4)	(8.9)	2.9	9T出土 8c末～9c前半 磨耗 内外：口縁～体部回転ナデ，内底部静止ナデ
25	さ497	GR15	須恵器	坏	(12.5)	(8.6)	2.6	9c前半 磨耗 外：体部回転ナデ 内：体～底部外周回転ナデ
26	す1540	—	須恵器	坏	—	(7.0)	—	1T出土 9c前半 外：体部回転ナデ，底部ヘラ切離し 内：体～底部回転ナデ，底部静止ナデ
27	さ511	—	須恵器	坏	—	(6.5)	—	1T出土 9c前半 磨耗 外：底部ヘラ切離し
28	さ512	—	須恵器	坏	—	(7.0)	—	1T出土 9c前半 磨耗 外：底部ヘラ切離し 内：体～底部外周回転ナデ
29	さ496	GR10	須恵器	椀	13.4	8.0	4.7	1T出土 8c末～9c前半 磨耗 外：口縁～高台内部外周回転ナデ 内：口縁～体部回転ナデ
30	さ521	—	須恵器	椀	—	(7.5)	—	5T出土 9c前半～中頃 外：腰～高台部内外周回転ナデ，高台内静止ナデ 内：体～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
31	さ523	—	須恵器	鉢	—	(9.0)	—	6T出土 8c後～9c初頭 器面の色調は橙褐色，焼成は良 外：体部回転ナデ，底部静止ヘラケズリ 内：体部回転ナデ，底部静止ナデ
32	さ500	GR9	須恵器	瓶	—	—	—	1T出土 8c後半～9c初頭 荒尾産 外器面の色調は橙色帯びる，焼成は良 外：肩部格子目タキ後回転ナデ，体部カキメ 内：指頭状の圧痕
33	す1554	—	土師器	甕	(27.4)	—	—	15T出土 9c中頃 外：口頸～体部上部横ナデ 内：口頸部横ナデ，体部ヘラケズリ後ナデ
34	す1555	—	土師器	坏	—	(7.4)	—	15T出土 10c後半～11c 外：口縁～体部回転ナデ，底部ヘラ切離し 内：口縁～底部外周回転ナデ，底部中央静止ナデ
35	す1548	—	土師器	坏	(14.0)	(10.0)	3.2	6T出土 12c中頃～13c 磨耗 外：底部糸切離し
36	さ506	—	土師器	坏	13.3	10.2	3.1	1T出土 13c～14c中頃 外：口縁～体部回転ナデ，底部回転糸切離し 内：口縁～底部回転ナデ，底部中央静止ナデ
37	さ520	—	土師器	坏	—	(8.9)	—	5T出土 13c中頃～14c中頃 磨耗 外：底部回転糸切離し 内：底部外周回転ナデ(凸凹頭著)
38	す1526	—	土師器	小皿	(8.9)	(8.0)	1.6	9T小穴出土 12c中頃～13c前半 底部穿孔(焼成前，外面から) 外(磨耗)：底部回転糸切離し・板目 内：口縁～体部回転ナデ，底部広めの静止ナデ
39	す1516	—	土師器	小皿	9.1	6.3	1.8	9T小穴出土 12c中頃～13c前半 磨耗 外：底部回転糸切離し・板目 内：底部広めの静止ナデ
40	す1539	—	土師器	小皿	(8.6)	(7.5)	1.3	1T出土 12c中頃～13c前半 外：磨耗 内：口縁～体部回転ナデ，底部広めの静止ナデ
41	さ509	—	土師器	小皿	(9.1)	(8.0)	1.3	1T出土 13c～14c初頭 磨耗 外：体部回転ナデ，底部回転糸切離し 内：口縁～底部回転ナデ，底部静止ナデ(やや磨耗するが静止ナデは1or2回のみ)
42	さ508	—	土師器	小皿	(8.9)	(6.7)	1.2	1T出土 12c中頃～14c中頃 磨耗 外：底部回転糸切離し
43	す1525	—	土師器	小皿	(7.4)	(6.0)	1.6	9T小穴出土 12c後半～13c前半 外(磨耗)：体部回転ナデ，内：口縁～底部外周回転ナデ，底部広めの静止ナデ
44	さ518	—	土師器	小皿	—	6.1	—	2T出土 12c後半～13c前半 磨耗 外：底部回転糸切離し・板目 内：底部広めの静止ナデ
45	さ510	—	土師器	小皿	(7.8)	(6.0)	1.9	1T出土 中世(13c後半以降) 外：口縁～体部回転ナデ，底部回転糸切離し・板目 内：口縁～底部外周回転ナデ，底部中央静止ナデ

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	焼成形態	器種	口径	底径	器高	備考
					※cm, ()内復元値			
46	さ519	—	黒色土器	椀	—	(6.7)	—	2T小穴出土 B類(炭素吸着良好) 11c末～12c中頃 内外摩耗
47a	す1522	—	須恵器	甕	—	—	—	47a～47cは同一個体 3点とも9T出土 在地産? 13c後～14c初頭 外:車輪文に格子文を加えた文様のタタキ 内:47aは板ナデ, 47b・cは無文当て具成形後にハケメ(4～5本/cm)
47b	す1520	—	須恵器	甕	—	—	—	
47c	す1521	—	須恵器	甕	—	—	—	
48	す1542	—	陶器	鉢	—	—	—	1T出土 東海産陶器 13c前半 内外:口縁部横ナデ, 内面胡麻降り様の降灰
49	す1543	—	須恵器	鉢	—	—	—	1T出土 東播系(片口部) 須恵器鉢 12c後半～13c初頭 内外:片口部横ナデ
50	さ505	GR13	青磁	椀	—	5.3	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府I-1類, 12c中頃～後半 高台外側面部分的に露胎
51	さ504	GR4	青磁	椀	—	6.4	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府I-1類, 12c中頃～後半 高台畳付・内側露胎
52	す1550	—	青磁	椀	—	—	—	11T出土 龍泉窯系 大宰府I類, 12c中頃～後半
53	す1532	—	青磁	小椀	—	5.0	—	9T出土 龍泉窯系 大宰府I類, 12c中頃～後半 高台畳付・内側露胎
54	さ515	—	青磁	椀	—	—	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府II b類(or II c類), 13c～14c初頭
55	す1533	—	青磁	椀	—	—	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府II b類(or II c類), 13c～14c初頭
56	す1530	—	青磁	椀	—	—	—	9T出土 龍泉窯系 大宰府II b類(or II c類), 13c～14c初頭
57	す1544	—	青磁	椀	—	(3.9)	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府III-2類, 13c中頃～14c初頭 高台露胎部鉄足
58	す1538	—	青磁	椀	—	(3.8)	—	表採 龍泉窯系 大宰府III類, 13c中頃～14c初頭 意図的な打ち欠き
59	さ514	—	青磁	坏	—	—	—	1T出土 龍泉窯系 大宰府III-3類, 13c中頃～14c初頭
60	す1534	—	白磁	椀	—	—	—	9T出土 福建省産 大宰府IX類, 13c中頃～14c初頭 口縁部釉剥ぎ・伏焼き
61	す1535	—	白磁	椀	—	—	—	9T出土 福建省産 大宰府IX類, 13c中頃～14c初頭 口縁部釉剥ぎ・伏焼き
62	す1518	—	瓦質土器	播鉢	—	—	—	9T出土 14～16c 外:口縁部横ナデ, 体部ユビ押え・ナデ 内:口縁部横方向・体部斜方向のハケメ(10本/cm)後片口部ナデ後一方方向の播目(8本一単位)
63	さ503	—	瓦質土器	播鉢	—	—	—	1T出土 14～16c 磨耗 外:口縁部横ナデ, 体部ユビ押え・ナデ 内:口縁部斜方向のハケメ目(7本/cm), 体部ナデ後一方方向の摺目
64	さ501	GR2	瓦質土器	播鉢	—	—	—	1T出土 14～16c 外:体部下位ユビ押えナデ(腰部ヘタリ), 底部未調整 内:体部下位ナデ後一方方向の摺目(6本一単位)
65	さ502	GR6	瓦質土器	播鉢	—	—	—	1T出土 14～16c 外:体部ユビ押え・ナデ 内:体部横方向の板ナデ後一方方向の播目(7本単位)
66	さ517	—	瓦質土器	鍋	(26.8)	—	—	2T出土 肥後型 15c 鏝部径(30.7) 外:口縁～鏝部横ナデ, 体部ユビ押え・ナデ 内:摩耗
67	す1549	—	瓦質土器	火鉢	—	—	—	11T出土 14～17c前半 磨耗 外:菊花形・平行線形印文 内:口縁～体部横・斜方向のナデ
68	す1517	—	瓦質土器	火鉢	—	—	—	9T出土 14～17c前半 磨耗 外:菊花形・平行線形印文 内:口縁部横ナデ
69	す1524	—	瓦質土器	火鉢	—	—	—	9T出土 あるいは風炉 14c後半～16c 磨耗 脚部:ナデ 内底部:板ナデ
70	す1528	—	瓦質土器	甕	—	—	—	9T出土 15・16c 外:縦方向のハケメ(9本/cm)後格子目タタキ 内:横方向のハケメ(9～10本/cm)
71	さ499	GR3	瓦質土器	甕	—	—	—	1T出土 15・16c 磨耗 外:格子目タタキ
72	す1523	—	陶器	播鉢	—	—	—	9T出土 備前 14c後 外:口縁～体部横ナデ 内(やや摩滅):口縁～体部横ナデ後摺目
73	す1562	—	磁器染付	望料碗	—	(4.3)	—	2T小穴出土 肥前 18c末～19c中頃 文様:外・内底とも草花 焼成技法:高台内下位細砂付着
74	す1561	—	磁器染付	碗	—	(3.8)	—	2T小穴出土 波佐見くらわんか碗 1820～1860年代 記銘:高台内「大明」崩れ銘
75	す1558	—	磁器染付	端反碗	(10.2)	—	—	16T出土 肥前系 19c初頭～中頃 文様:格子(2本線一単位)
76	す1559	—	磁器染付	小丸碗	(7.0)	—	—	16T出土 肥前系 19c初頭～中頃 胎土:橙色味帯びる 文様:草花?
77	す1560	—	白磁	碗	(11.3)	4.2	5.3	2T小穴出土 肥前系 19c 焼成技法:内底蛇の目釉剥ぎ・アルミナ塗布 畳付細砂付着
78	す1557	—	磁器染付	平形碗	(10.9)	(5.1)	4.6	16T出土 肥前系 19c後半～20c初頭 文様:化学コバルト型紙摺り 外…宝珠・鍵・熨斗・半花形区画内青海波・腰部変形蓮弁 内…口縁部環珞 焼成技法:内底蛇の目釉剥ぎ
79	す1546	—	磁器染付	皿	—	(8.2)	—	2T出土 肥前系 18c後半～19c中頃 蛇の目凹形高台 文様:内底波?or流水? 焼成技法:高台内蛇の目釉剥ぎ・鉄漿塗布

その他の遺物—石製品 (第32図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	石材	縦長×横長		重さ	備考	挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	石材	縦長×横長		重さ	備考
					※mm, (残存長)	※g								※mm, (残存長)	※g		
80	す1529	—	砥石	流紋岩	(60)×(61)	78.3	9T出土	82	す1551	—	石匙	安山岩	(24)×(47)	6.9	11T出土		
81	す1536	—	石板	粘板岩	(56)×(60)	30.1	9T出土	83	す1552	—	石鏝	安山岩	(18)×(15)	0.6	12T出土		

その他の遺物—銅製品ほか (第32図)

挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	計測値		挿図 No.	実測 No.	取上 No.	品名	計測値	
				長さ※mm, (残存長)	重さ※g					長さ※mm, (残存長)	重さ※g
84	す1647	G2	銅製煙管雁首	横長39, 軸最大径10	重さ4.7	89	す1545	G17	鉄滓(鍛冶滓)	平面35×28, 厚22	重さ16.2
85	す1648	G14	銅製煙管吸口	横長58, 最大径10	重さ4.8	90	さ516	—	布目瓦	縦(64), 横(54)	—
86	す1649	G15	不明銅製品	横長36, 最大径12	重さ6.2		※凹面布目, 側面ケズリ後ナデ, 凸面(磨耗)ナデ				
87	※端部ネジ切り加工					91	す1537	—	焼成粘土塊	平面28×24	重さ6.0
	す1448	G16	熔解鉛塊	平面22×19, 厚9	重さ11.2		※繊維状圧痕認める				
88	旧Y224	—	—								
88	す1553	G18	鉄滓(椀形滓)	平面52×33, 厚24	重さ39.5						
※上下面とも木炭痕認める											